

岡崎市市民意識調査

報告書

平成31年3月

岡崎市

岡崎市市民意識調査 報告書

目次

I. 調査の概要	1
調査内容	1
II. 調査結果	3
A 属性	3
B 岡崎市のまちについて	4
C 就業について	33
D 市の取組に対する満足度・重要度について	43
E 自由回答	60

1. 調査の概要

調査内容

- ・調査対象

18歳以上の岡崎市民 5,000人

(住民基本台帳から無作為に抽出)

- ・調査方法

郵送による配布・回収

- ・調査期間

平成30年7月9日から平成30年7月20日

- ・回収状況

配布数 5,000件 回収票数 2,762件 回収率 55.2%

- ・調査結果の見方

- (1) 回答結果について、比率はすべてパーセントで表し、少数点以下第2位を四捨五入して算出した。なお、各回答の合計が100%にならない場合は、無回答（無回答がない場合は「分からない」）の値を調整している。
- (2) 基数となるべき実数は、Nとして掲載した。すべての比率は、Nを100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選択した人の回答者数に対する比率を算出している。」そのため、各項目の比率を合計すると100%を超える。
- (4) 各設問に対する結果レポートは、回答者の属性（居住地域、年齢）によるクロス集計結果及び過去の調査結果（平成20年度、平成23年度、平成25年度、平成28年度実施）との比較について記載を行っている。

調査項目

A 属性

- ・性別（問1）
- ・年齢（問2）
- ・職業（問3）
- ・居住年数（問4）
- ・家族構成（問5）
- ・居住地域（問6）

B 岡崎市のまちについて

- ・岡崎市の住みやすさ（問7）
- ・住みよいと思う理由（問7-1）
- ・住みにくいと思う理由（問7-2）
- ・居住継続意向（問8）
- ・普段利用する鉄道駅（問9）
- ・鉄道駅周辺に重要だと思う施設（問10）
- ・市政関心度（問11）
- ・市政に関心がある理由（問11-1）
- ・市政に関心がない理由（問11-2）
- ・市政に関心を持ってもらう施策（問11-3）
- ・まちづくりへの関わり方（問12）

C 就業について

- ・いつまで働きたいか（問13）
- ・就業における不安（問14）
- ・今後の就業意欲（問15）
- ・就業したい理由（問15-1）
- ・就業に望ましい環境（問15-2）

D 市の取組に対する満足度・重要度

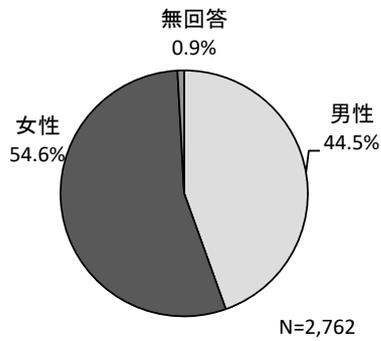
- ・市の行政施策に係る「現状の満足度」（問16（1））
- ・市の行政施策に係る「今後の重要度」（問16（2））

E 自由回答

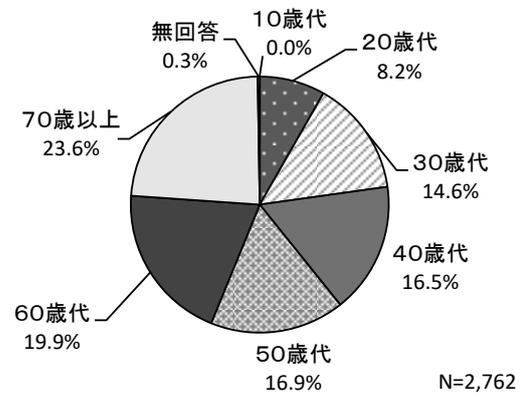
II. 調査結果

A 属性

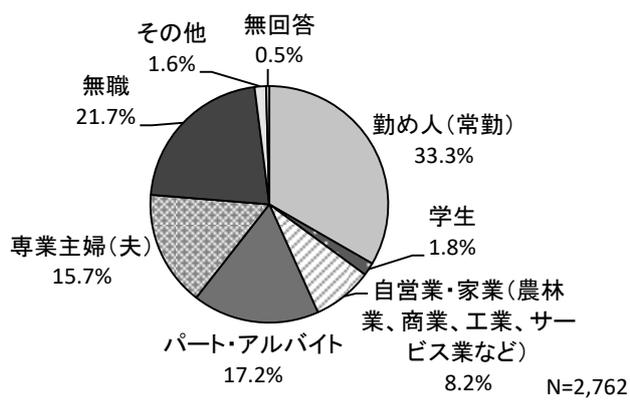
問 1 性別



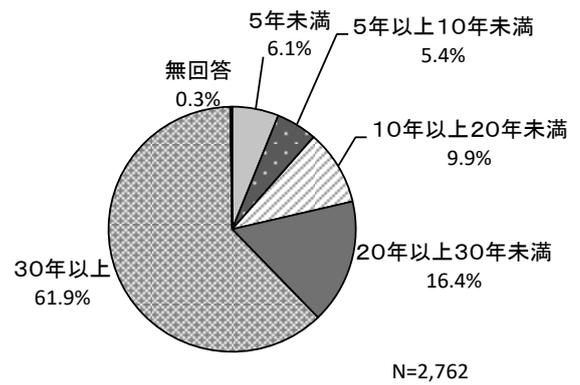
問 2 年齢



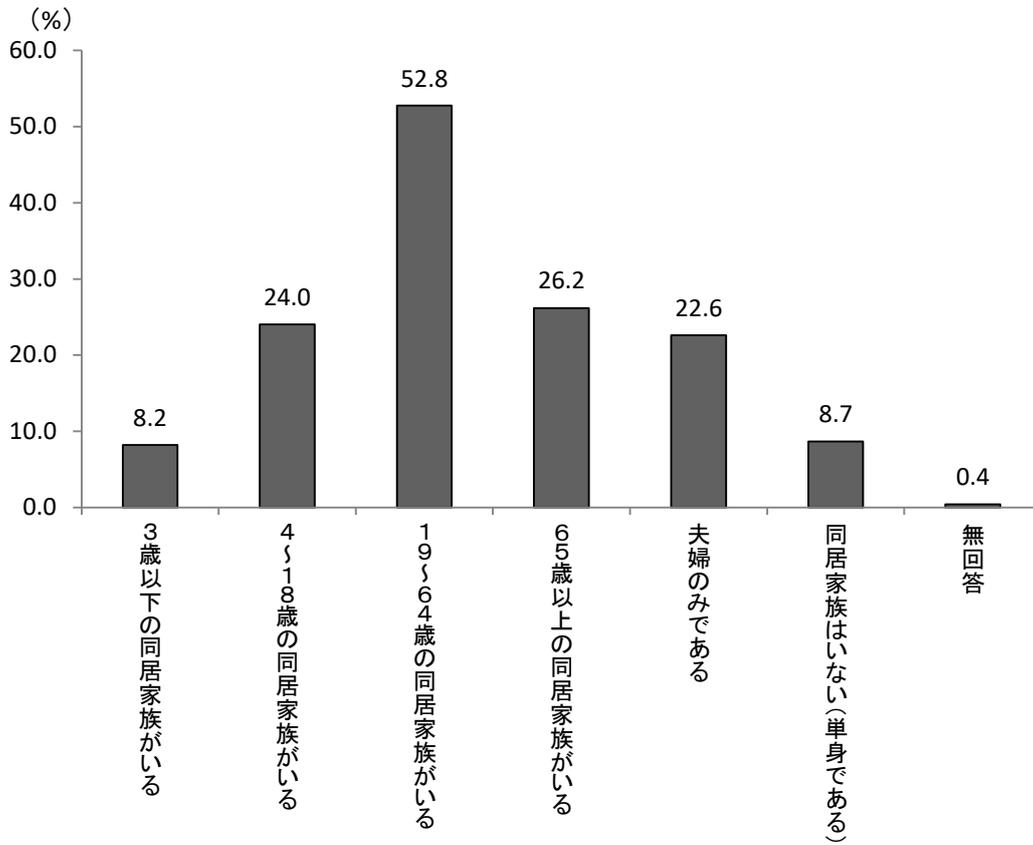
問 3 職業



問 4 居住年数

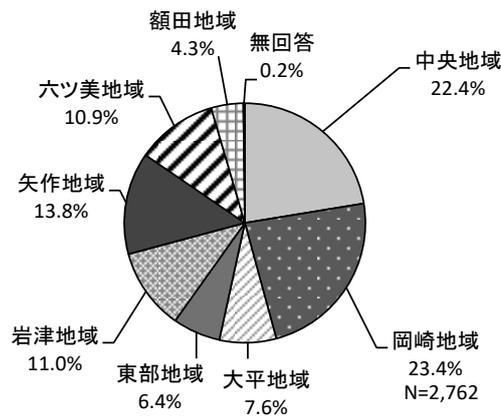


問5 家族構成



N=2,243

問6 居住地域



B 岡崎市のまちについて

問7 岡崎市の住みやすさ

岡崎市の住みやすさについてうかがったところ、「まあ住みよい」との回答が45.4%ともっとも多く、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると81.2%の市民が岡崎市の生活に満足している。

平成20年度、平成23年度、平成25年度、平成28年度の経年変化をみると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた肯定的意見は平成23年度（83.2%）から平成28年度（85.6%）まで上昇するものの、今回の平成30年度調査（81.2%）と約4%の減少となった。

一方、「住みにくい」「やや住みにくい」を合わせた否定的な意見は平成20年度（14.1%）、平成23年度（14.7%）、平成25年度（15.0%）、平成28年度（14.1%）と推移し、平成30年度は約3%増加し16.7%となった。

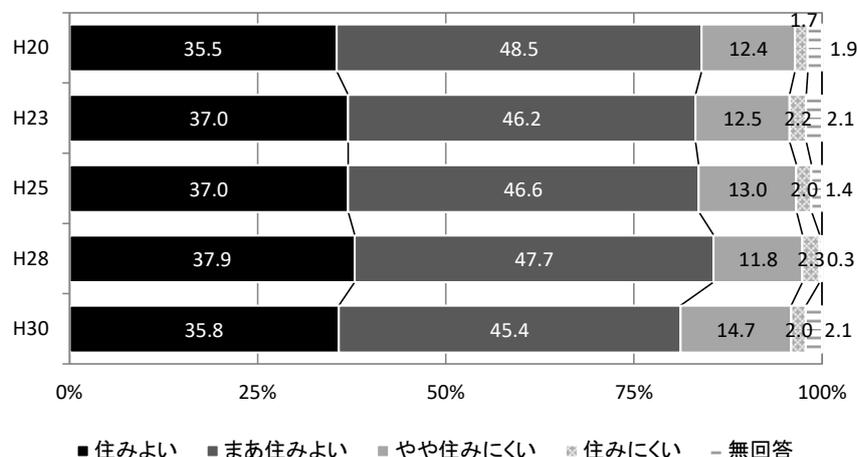
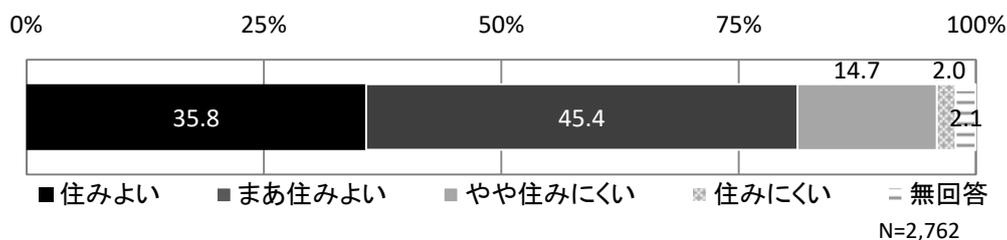
問7 あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 1 岡崎市の住みやすさ

(単位：人、%)

	全体	住みよい	まあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
回答者数	2762	988	1255	406	54	59
割合	100.0	35.8	45.4	14.7	2.0	2.1

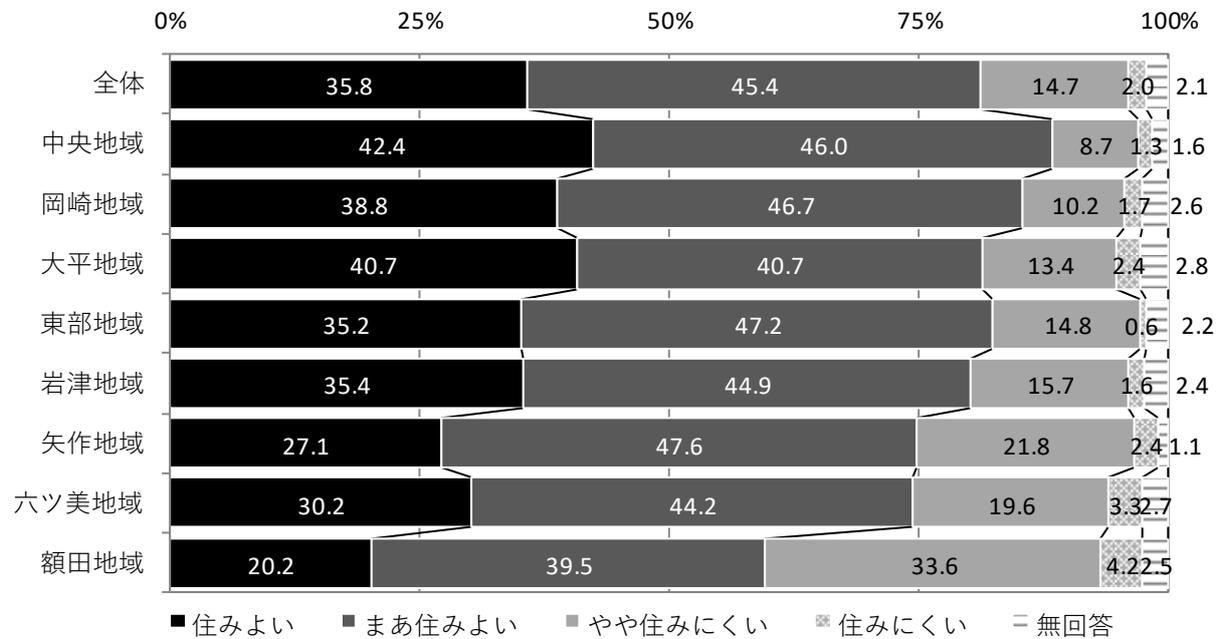
図 1 岡崎市の住みやすさ（上段：単純、下段：経年変化）



<地域別>

「住みよい」との回答割合が高いのは中央地域（42.4%）、大平地域（40.7%）で、「住みにくい」との回答割合が高いのは額田地域（4.2%）となっている。

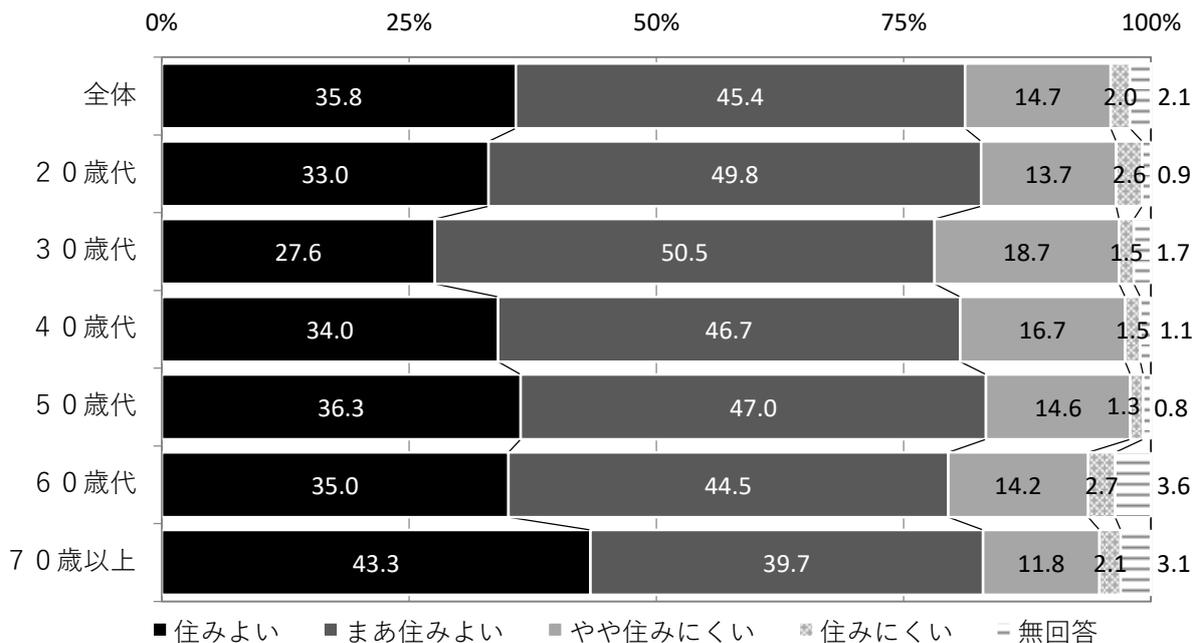
図 1 a 岡崎市の住みやすさ（地域別）



<年齢別>

「住みよい」との回答者の割合は、70歳以上が43.3%ともっとも高く30歳代が27.6%と最も低くなっている。

図 1 b 岡崎市の住みやすさ（年齢別）



問 7-1 住みよいと思う理由

問 7 で「住みよい」「まあ住みよい」と答えた人に住みよいと思う理由をうかがったところ、「買い物便利である」との回答が58.2%と最も多く、次いで「交通の便がよい」との回答が多くなっている（43.3%）。

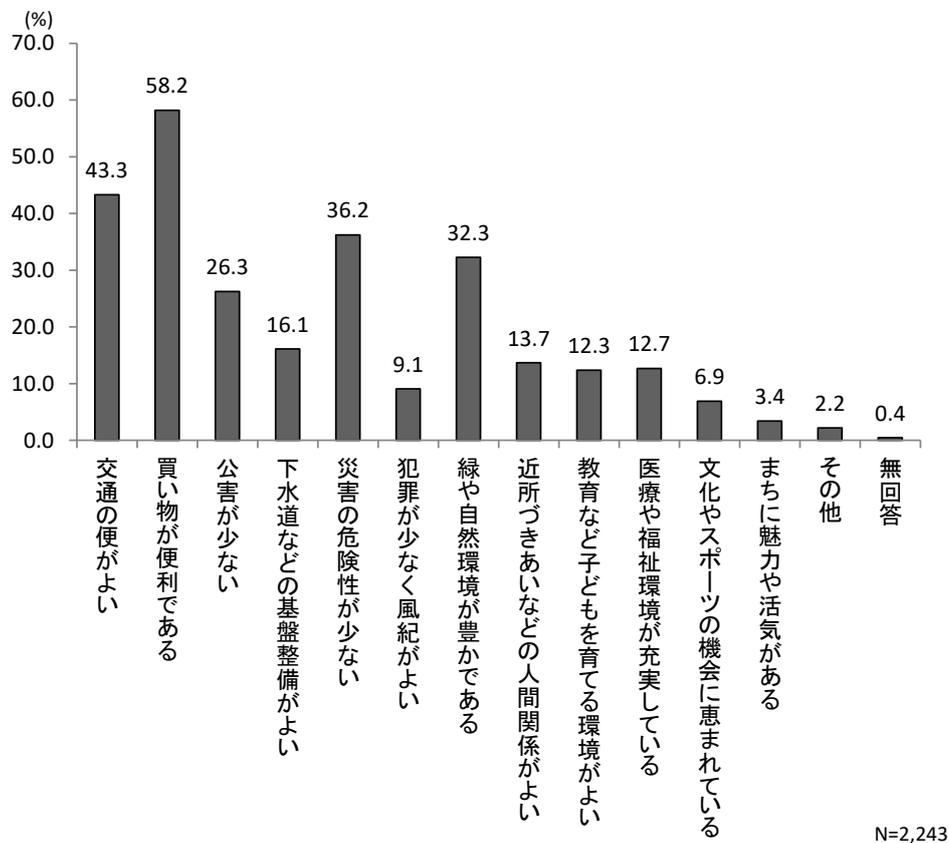
問 7-1（問 7 で「住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方のみ）
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 1-1 住みよいと思う理由

(単位：人、%)

No.	全体	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
		交通の便がよい	買い物便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	文化やスポーツの機会に恵まれている	まちに魅力や活気がある	その他	無回答
回答者数	2243	971	1,305	589	361	813	204	724	307	277	284	155	76	49	10
割合	100.0	43.3	58.2	26.3	16.1	36.2	9.1	32.3	13.7	12.3	12.7	6.9	3.4	2.2	0.4

図 1-1 住みよいと思う理由



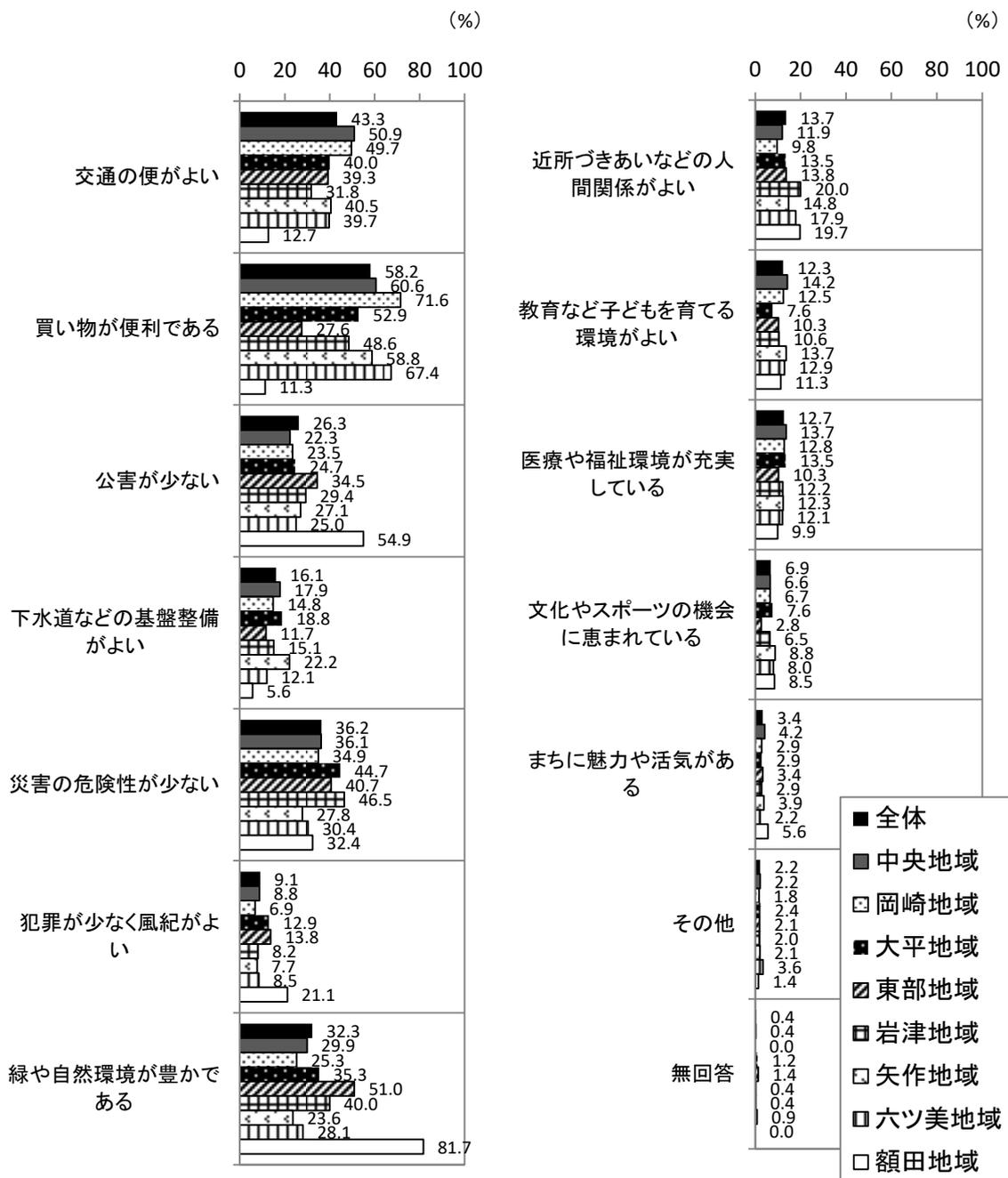
<地域別>

全体でもっとも多かった「買い物が便利である」との回答は岡崎地域が多く、71.6%となっている。一方、額田地域や東部地域においては、それぞれ11.3%、27.6%に留まっている。

全体で次に多かった「交通の便がよい」との回答は中央地域が多く、50.9%となっている。他地域についても30%以上の回答は得られているが、額田地域（12.7%）のみ低い結果となっている。

三番目に多かった「災害の危険性が少ない」との回答は、岩津地域が46.5%ともっとも高い。また、中央地域（36.1%）は前回の平成28年（29.1%）から約7%増と、全体を上回る伸びがみられる。これは伊賀川改修工事をはじめとする効果が実感しやすい大型事業が完了したことが影響していると考えられる。

図 1-1a 住みよいと思う理由（地域別）



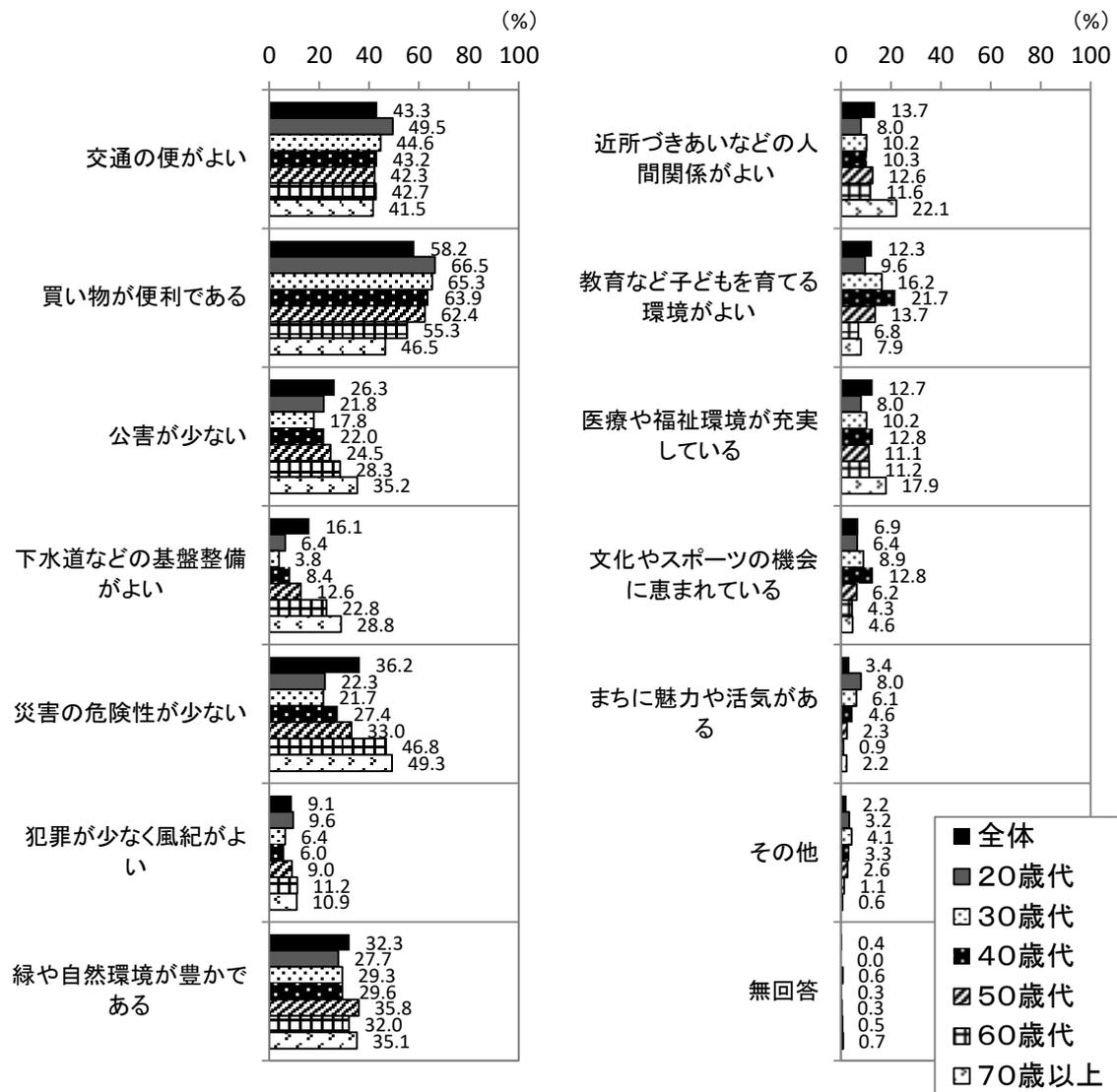
<年齢別>

ほぼ全ての年齢で過半数の回答が得られた「買い物が便利である」との回答は、20歳～50歳代で特に多く、それぞれ6割を超えているが、60歳以上になると大きく減少する傾向がみられる。これは、自動車に乗ることの出来ない層が増えるためと思われる。

また、全体で次に多かった「交通の便がよい」との回答は、30歳代で多く、49.5%となっている。

一方、「災害の危険性が少ない」との回答は年齢が高くなるほど多くなる傾向があり、60歳代で46.8%、70歳以上で49.3%となっている。

図 1-1b 住みよいと思う理由（年齢別）



問 7-2 住みにくいと思う理由

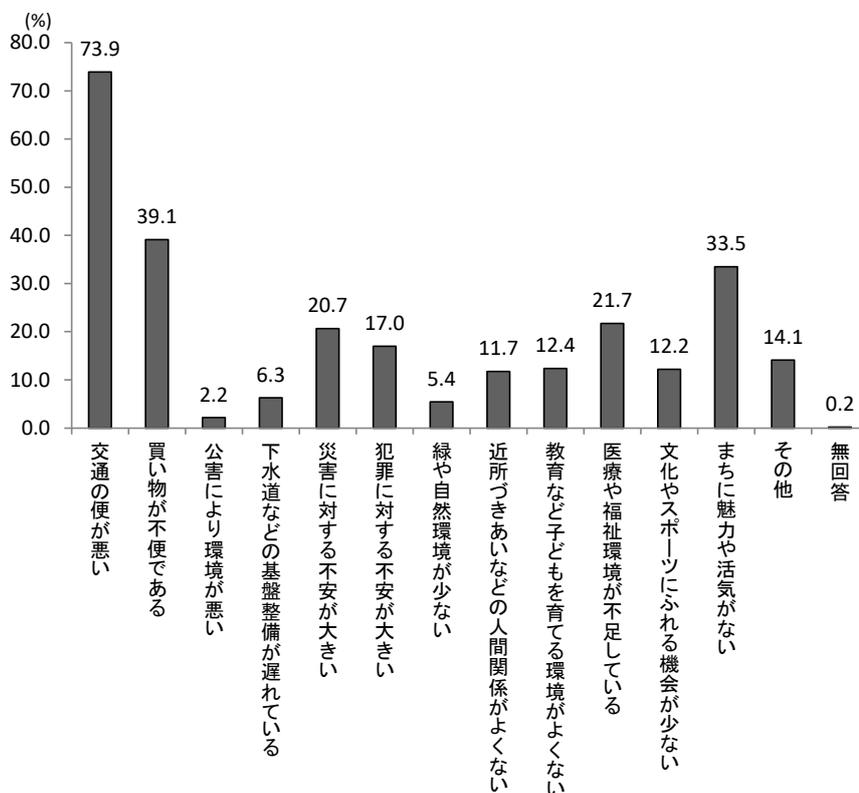
問 7 で「やや住みにくい」、「住みにくい」と答えた人に、住みにくいと思う理由についてうかがったところ、「交通の便が悪い」との回答が73.9%となっており、他の理由と大きく差が開いている。次に多い理由は「買い物不便である」となっている(39.1%)。問7-1の住みよいと思う理由では、「交通の便がよい」、「買い物便利である」との回答がそれぞれ2番目、1番目に位置していることから、岡崎市における住みやすさ及び住みにくさは、交通及び買い物の便に起因すると考えられる。

問 7-2 (問 7 で「やや住みにくい」、「住みにくい」と回答した方のみ)
それはどのような理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 1-2 住みにくいと思う理由

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
	交通の便が悪い	買い物不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよくない	教育など子どもを育てる環境がよくない	医療や福祉環境が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちに魅力や活気がない	その他	無回答	
回答者数	460	340	180	10	29	95	78	25	54	57	100	56	154	65	
割合	100.0	73.9	39.1	2.2	6.3	20.7	17.0	5.4	11.7	12.4	21.7	12.2	33.5	14.1	0.2

図 1-2 住みにくいと思う理由



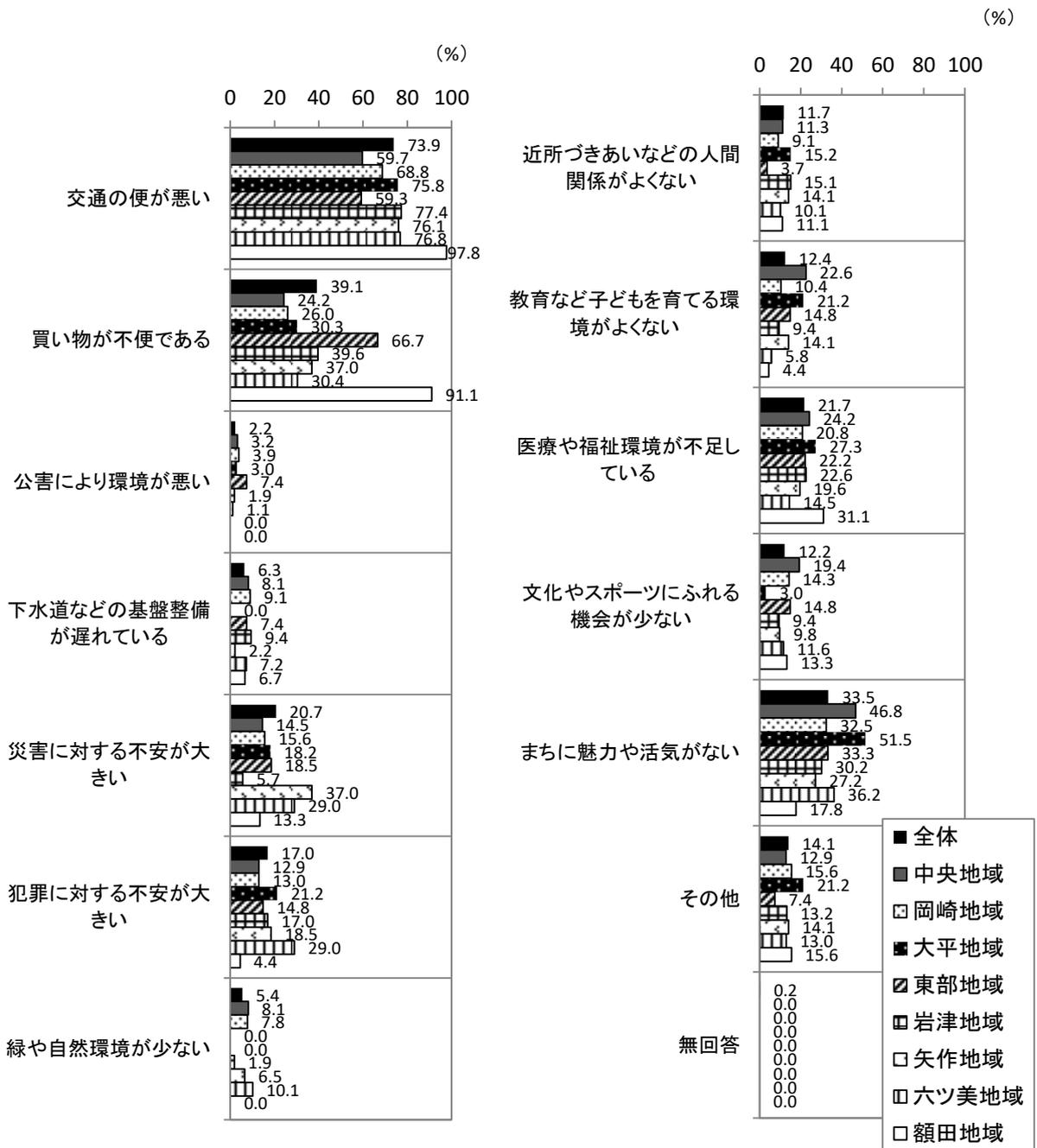
N=2,243

＜地域別＞

「交通の便が悪い」との回答が特に多かったのは額田地域であり、97.8%とほとんどの市民が住みにくいと思う理由としてあげている。「買い物に不便である」との回答では、額田地域(91.1%)、東部地域(66.7%)で特に多くなっている。

三番目に多かった「まちに魅力や活気がない」との回答では、大平地域(51.5%)、中央地域(46.8%)で多くなっている。

図 1-2a 住みにくいと思う理由(地域別)

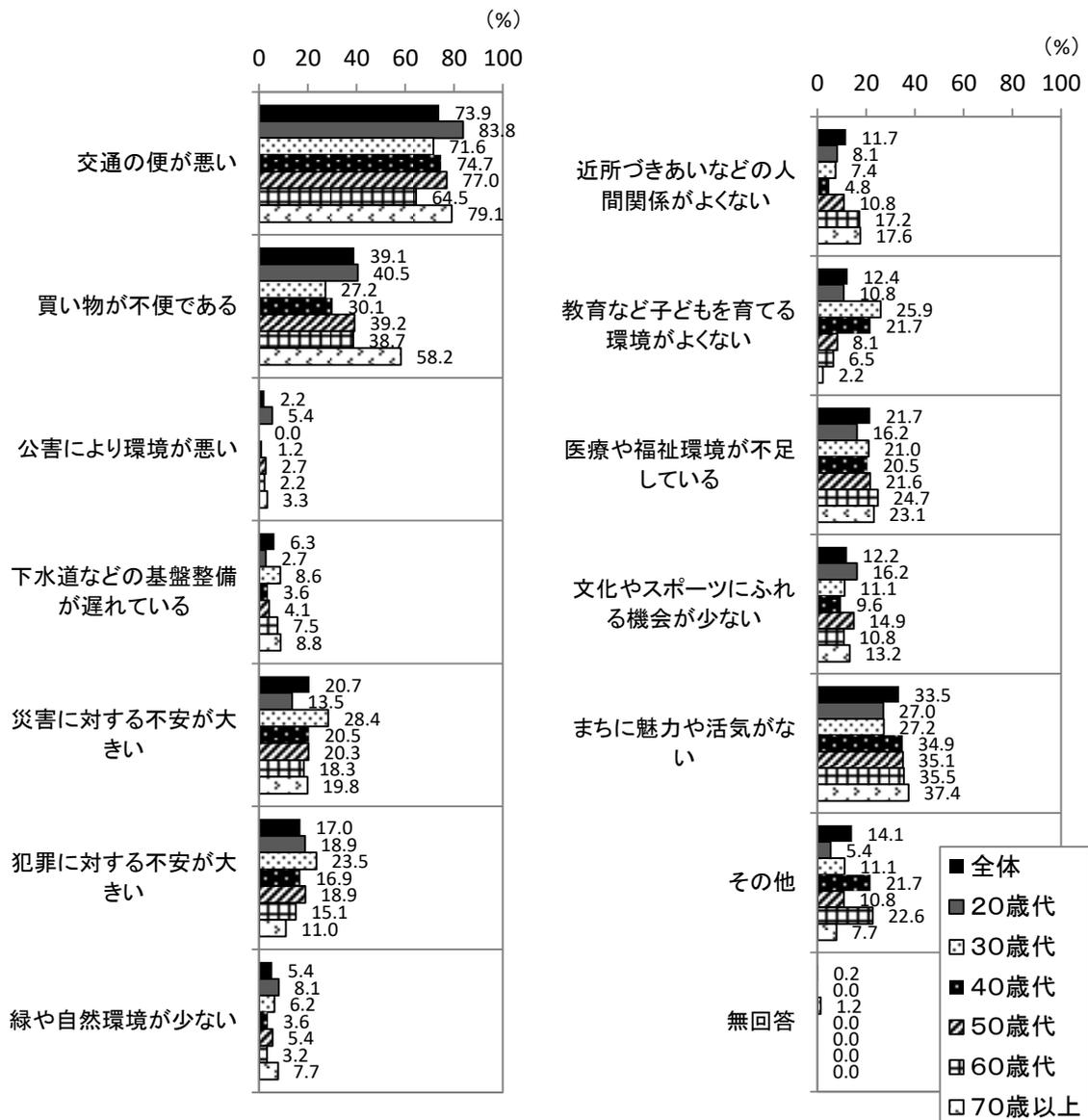


<年齢別>

「交通の便が悪い」との回答が多かったのは20歳代で83.8%を超えている。また、その他の年齢でも6割を超えているため、交通利便性の改善は市の課題の一つといえる。

また、70歳以上では「買い物に不便である」との回答が58.2%と、過半数を超える方が買い物に対する不便さを抱えている。30歳代、40歳代では「教育など子どもを育てる環境がよくない」の回答割合がやや高くなっている。

図 1-2b 住みにくいと思う理由（年齢別）



問8 居住継続意向

今後の居住継続に対する意向をうかがったところ、「ずっと住んでいたい」との回答が58.1%と多く、「しばらくは住むつもりだ」(25.6%)、「市内の他の地域に移りたい」(1.6%)を含めて、8割を超える市民が引き続き岡崎市に住み続けたいと回答している。平成20年度、平成23年度、平成25年度、平成28年度の経年変化をみると、「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」を合わせた市内居住に対する肯定的意見は平成20年度(84.4%)、平成23年度(83.4%)、平成25年度(83.4%)、平成28年度(84.5%)、平成30年度(83.7%)とほぼ一定であり、8割を超えている。

また、「市外に移りたい」という市内居住に対する否定的意見も平成20年度(2.3%)、平成23年度(2.1%)、平成25年度(2.0%)、平成28年度(2.4%)、平成30年度(2.2%)とほぼ一定である。

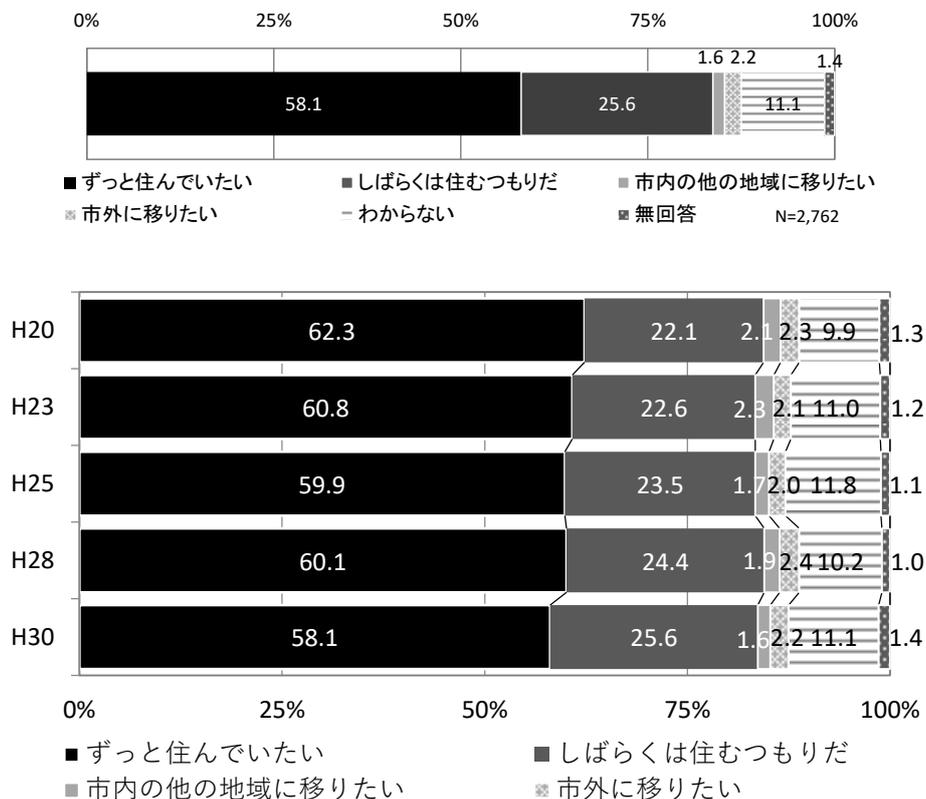
問8 あなたは今後も岡崎市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表2 居住継続意向

(単位：人、%)

No.	全体	1 ずっと住んでいたい	2 しばらくは住むつもりだ	3 市内の他の地域に移りたい	4 市外に移りたい	5 わからない	無回答
回答者数	2762	1,604	708	43	62	307	38
割合	100.0	58.1	25.6	1.6	2.2	11.1	1.4

図2 居住継続意向(上段：単純、下段：経年変化)

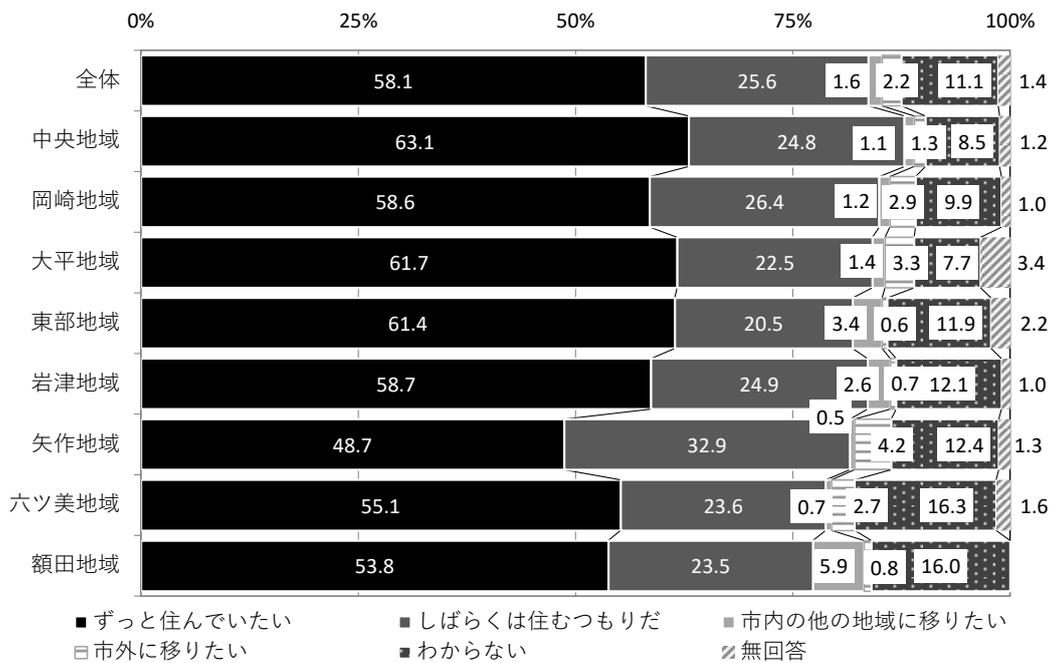


<地域別>

「ずっと住んでいたい」との回答割合が高いのは、中央地域(63.1%)、次いで大平地域(61.7%)、東部地域(61.4%)となっている。

一方で、「市外に移りたい」との回答割合が他地域と比して若干高かったのは、矢作地域(4.2%)、大平地域(3.3%)となっている。

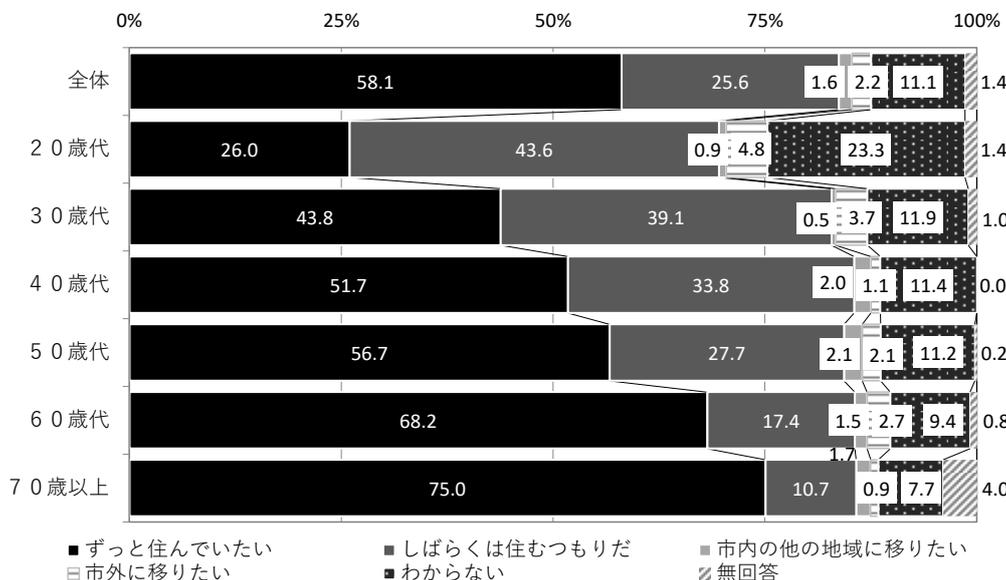
図 2a 居住継続意向 (地域別)



<年齢別>

「ずっと住んでいたい」との回答は、年齢が高くなるにつれて割合が高くなっており、20歳代では26.0%であるのに対し、70歳以上では75.0%となっており、20歳代の約3倍となっている。一方、「市外に移りたい」との回答割合は20歳代で4.8%、30歳代では3.7%と若い年齢層ほど、市外に行きたい意向が強い。

図 2b 居住継続意向 (年齢別)



問9 普段もっとも多く利用する駅

普段もっとも多く利用する駅をうかがったところ、東岡崎駅が35.6%と最も多く、次いで、岡崎駅が27.2%となり、この2駅の合計が6割を超えている。美合駅、本宿駅、矢作橋駅といった名鉄名古屋本線の駅もそれぞれ約5%の回答が得られた。

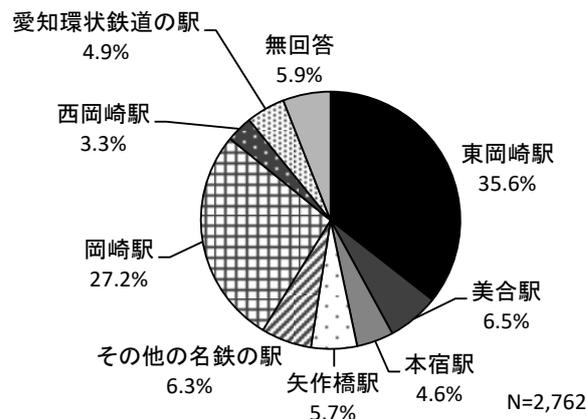
問9 あなたが普段、もっとも多く利用する鉄道駅はどこですか。次の中からを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3 最も多く利用する駅

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	6	7	8	
	全体	東岡崎駅	美合駅	本宿駅	矢作橋駅	その他の名鉄の駅	岡崎駅	西岡崎駅	愛知環状鉄道の駅	無回答
回答者数	2762	984	179	127	158	174	751	91	134	164
割合	100.0	35.6	6.5	4.6	5.7	6.3	27.2	3.3	4.9	5.9

図 3 最も多く利用する駅



問10 重要だと思う鉄道駅周辺施設

次に、問9で選んだ鉄道駅周辺において、重要だと思う施設をうかがったところ、商業施設、医療施設、業務施設等の中では、「スーパーや飲食店などの商業施設」がもっとも多く55.3%となった。

同様に、公共施設や駐輪場等の中では、車での送迎が可能な駅前広場が52.8%ともっとも多いことから、駅への自動車アクセスに対する市民の関心は高いと思われる。

問10 問9で選んだ鉄道駅の周辺に、重要だと思う施設は何ですか。
次の1～5と、6～10の中からそれぞれ主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表4 重要だと思う鉄道駅周辺施設

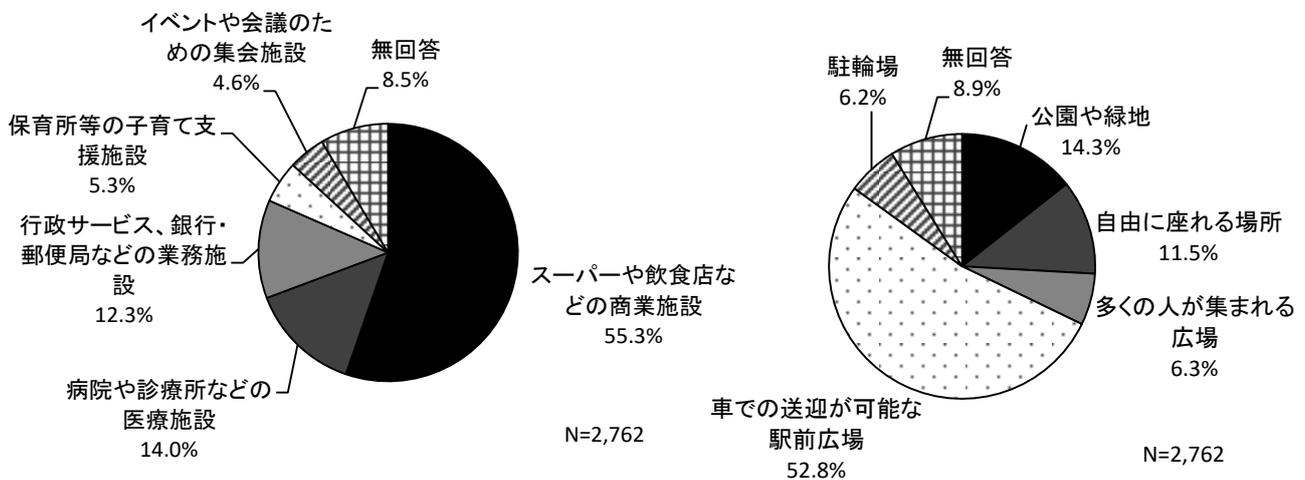
・商業施設、医療施設、業務施設等 (単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	
	全体	スーパーや飲食店などの商業施設	病院や診療所などの医療施設	行政サービス、銀行・郵便局などの業務施設	保育所等の子育て支援施設	イベントや会議のための集会施設	無回答
回答者数	2762	1,527	386	341	146	127	235
割合	100.0	55.3	14.0	12.3	5.3	4.6	8.5

・公園や緑地、広場、駐輪場等 (単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	
	全体	公園や緑地	自由に座れる場所	多くの人が集まれる広場	車での送迎が可能な駅前広場	駐輪場	無回答
回答者数	2762	396	319	174	1,459	170	244
割合	100.0	14.3	11.5	6.3	52.8	6.2	8.9

図4 重要だと思う鉄道駅周辺施設



問11 市政関心度

市政に対する関心度をうかがったところ、「ある程度関心がある」との回答が54.4%と最も多く、「非常に関心がある」と合わせて63.8%の市民が市政に関心を寄せている。

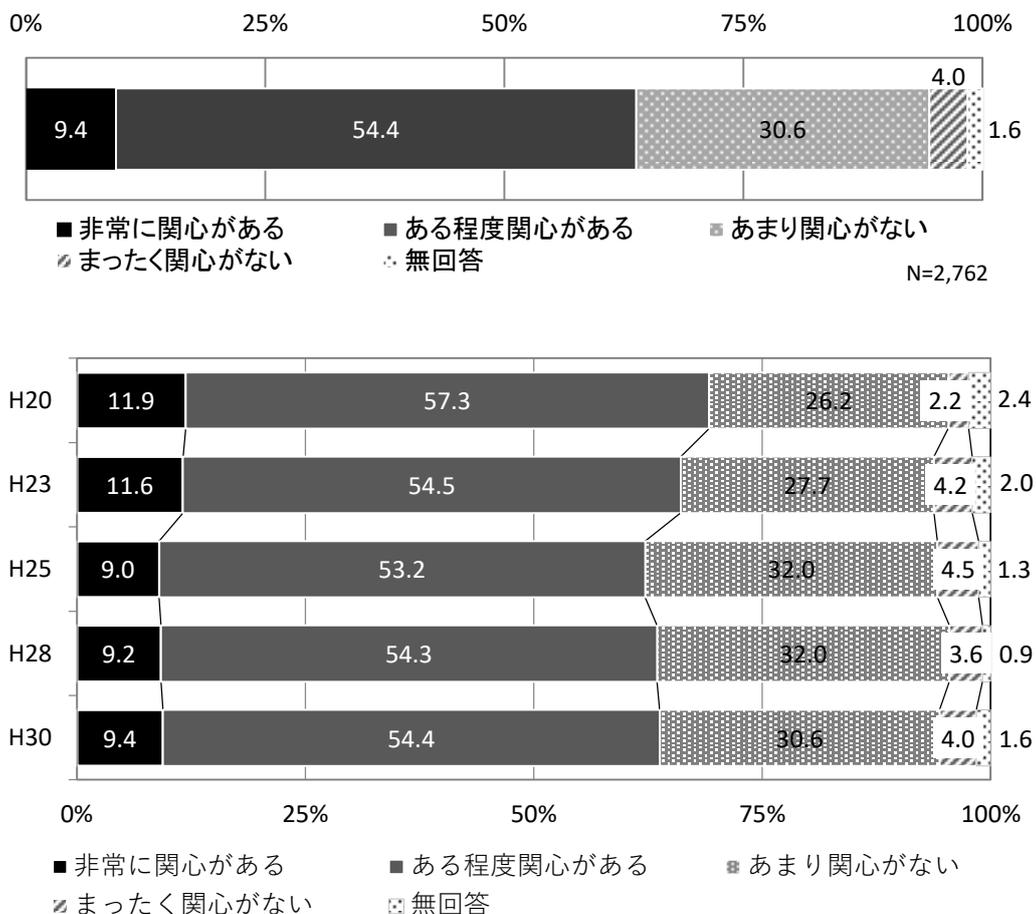
平成20年度、平成23年度、平成25年度、平成30年度の経年変化をみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた市政に対する関心のある層は、平成20年度（69.2%）、平成23年度（66.1%）、平成25年度（62.2%）、平成28年度（63.5%）、平成30年度（63.8%）と、平成20年度以降減少傾向にあったが、平成28年度からはやや持ち直している。

一方で「まったく関心がない」「あまり関心がない」を合わせた市政に対して関心のない層は、平成20年度（28.4%）、平成23年度（31.9%）、平成25年度（36.5%）と増加傾向にあったが、平成28年度（35.6%）および平成30年度（34.6%）とやや減少している。

市政への市民の関心は、平成25年度以降、若干ではあるが高まりつつあることがうかがえる。

問 1 1 あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

図 5 市政関心度（上段：単純、下段：経年変化）

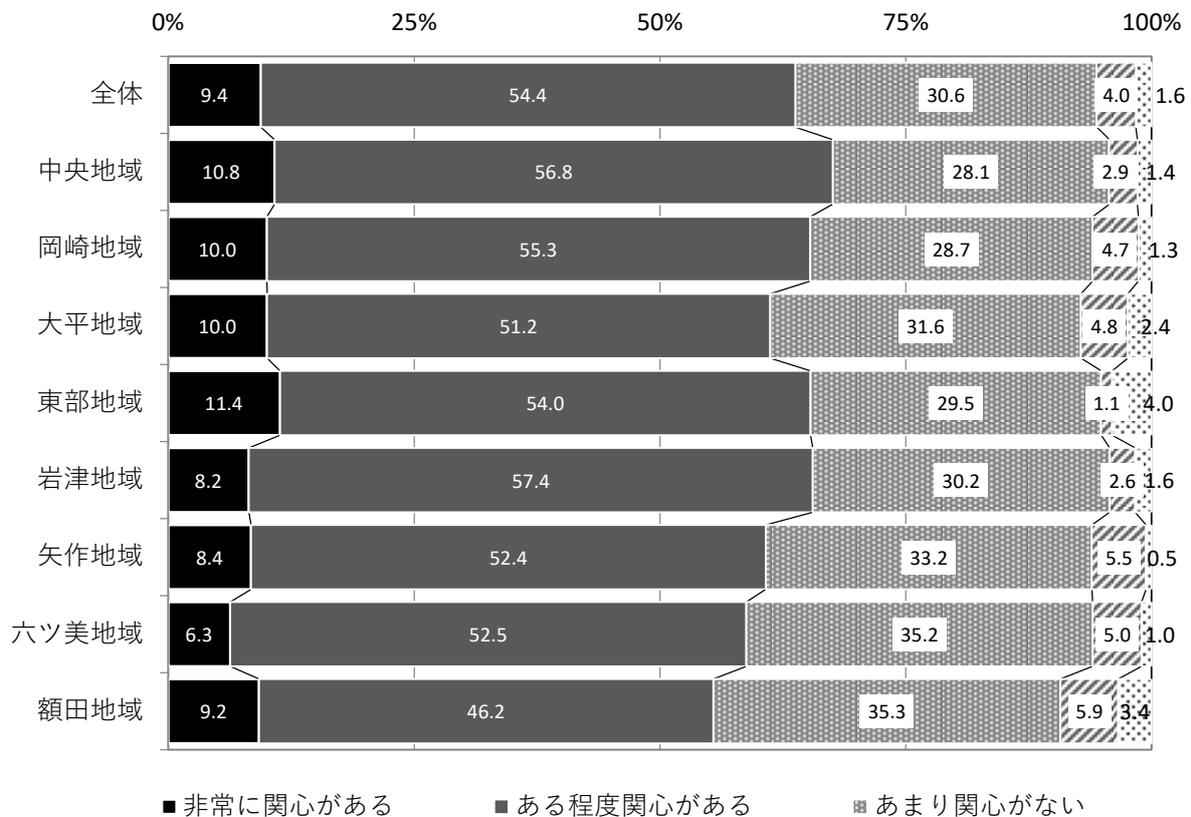


<地域別>

「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」との回答を合わせると、中央地域（67.6%）、岩津地域（65.6%）、岡崎地域（65.3%）の順で多くなっている。

一方で、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」との回答を合わせると、額田地域（41.2%）、六ツ美地域（40.2%）の順で高くなっている。「まったく関心がない」との回答は、額田地域（5.9%）、矢作地域（5.5%）、六ツ美地域（5.0%）で多くなっている。

図 5a 市政関心度（地域別）

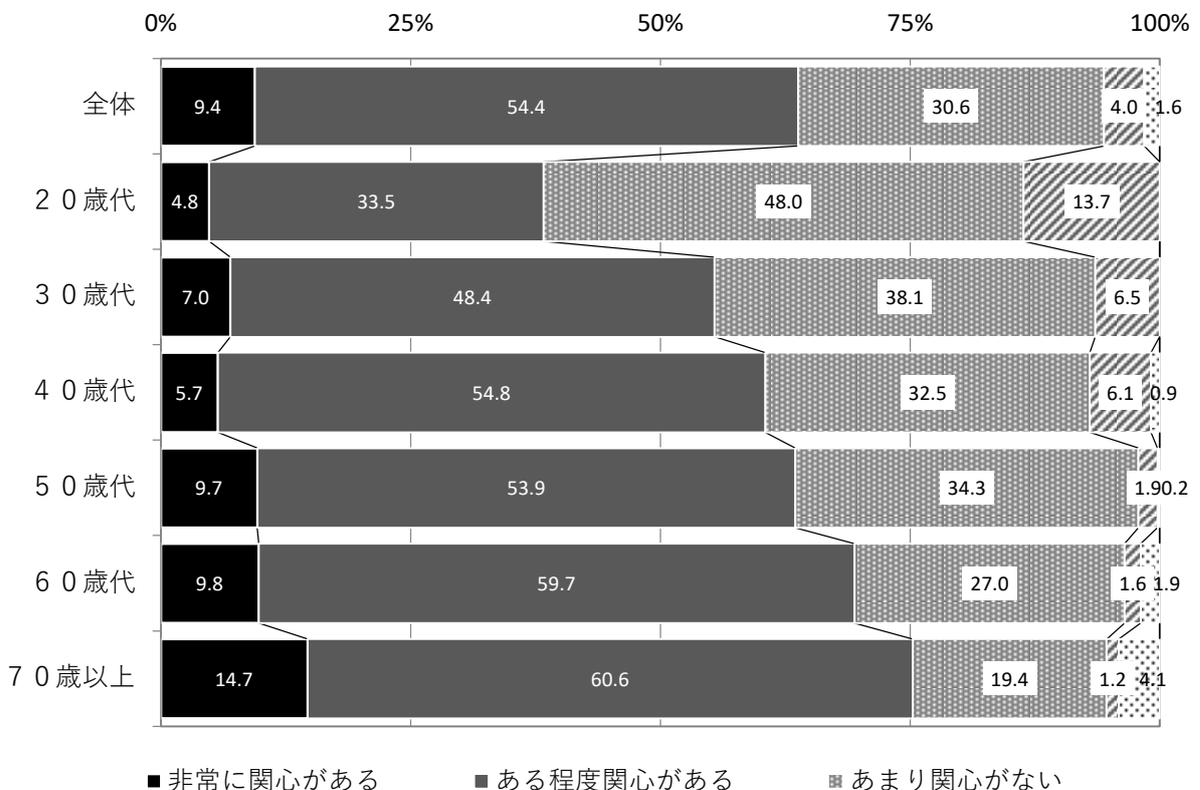


<年齢別>

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」との回答は、年齢が高くなるにつれて多くなっている。20歳代では38.3%であるが、30歳代から50歳代は5割から6割、70歳以上は7割以上となっている。また、70歳以上の年齢層では、「非常に関心がある」との回答の割合が、14.7%と高い値を示している。

一方、「まったく関心がない」との回答は20歳代で13.7%と特に多くなっていることから、若年層に対して市政に関心を持ってもらうための取組が課題といえる。

図 5b 市政関心度（年齢別）



問 11-1 市政に関心がある理由

問11で、市政に「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた人に関心がある理由をうかがったところ、「自分の暮らし向きに直接関係がある」（47.3%）との回答と、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」（39.7%）との回答が大半を占めている。

経年変化をみると、「自分の暮らし向きに直接関係がある」は、平成20年度（48.8%）、平成23年度（48.3%）、平成25年度（51.7%）、平成28年度（48.4%）、平成30年度（47.3%）と、平成25年度以降は減少傾向にある。一方、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」は平成20年度（38.8%）、平成23年度（36.2%）、平成25年度（35.4%）、平成28年度（37.4%）、平成30年度（39.7%）と、こちらは平成25年度以降は増加傾向にある。

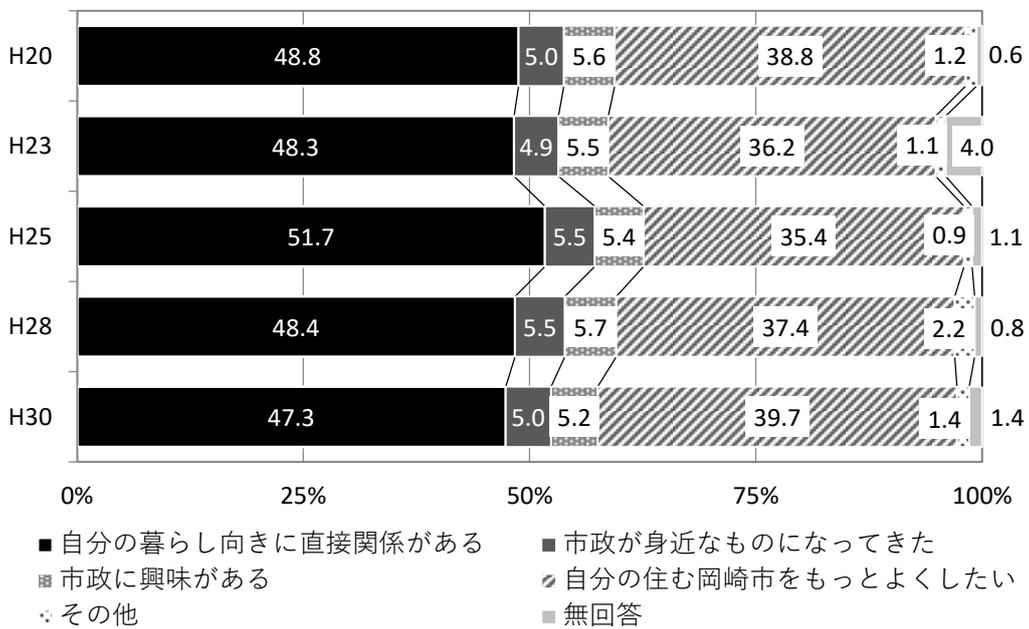
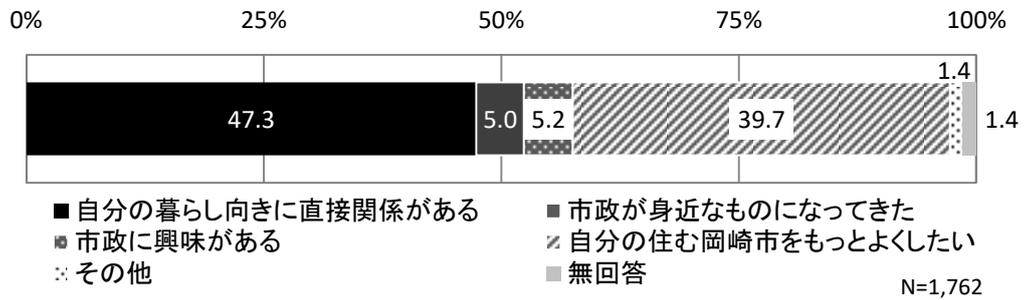
問 1 1 - 1 それはどういった理由からですか。次のものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 5 - 1 市政に関心がある理由

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	
	全体	自分の暮らし向きに直接関係がある	市政が身近なものになってきた	市政に興味がある	自分の住む岡崎市をもっとよくしたい	その他	無回答
回答者数	1762	834	88	91	699	24	26
割合	100.0	47.3	5.0	5.2	39.7	1.4	1.4

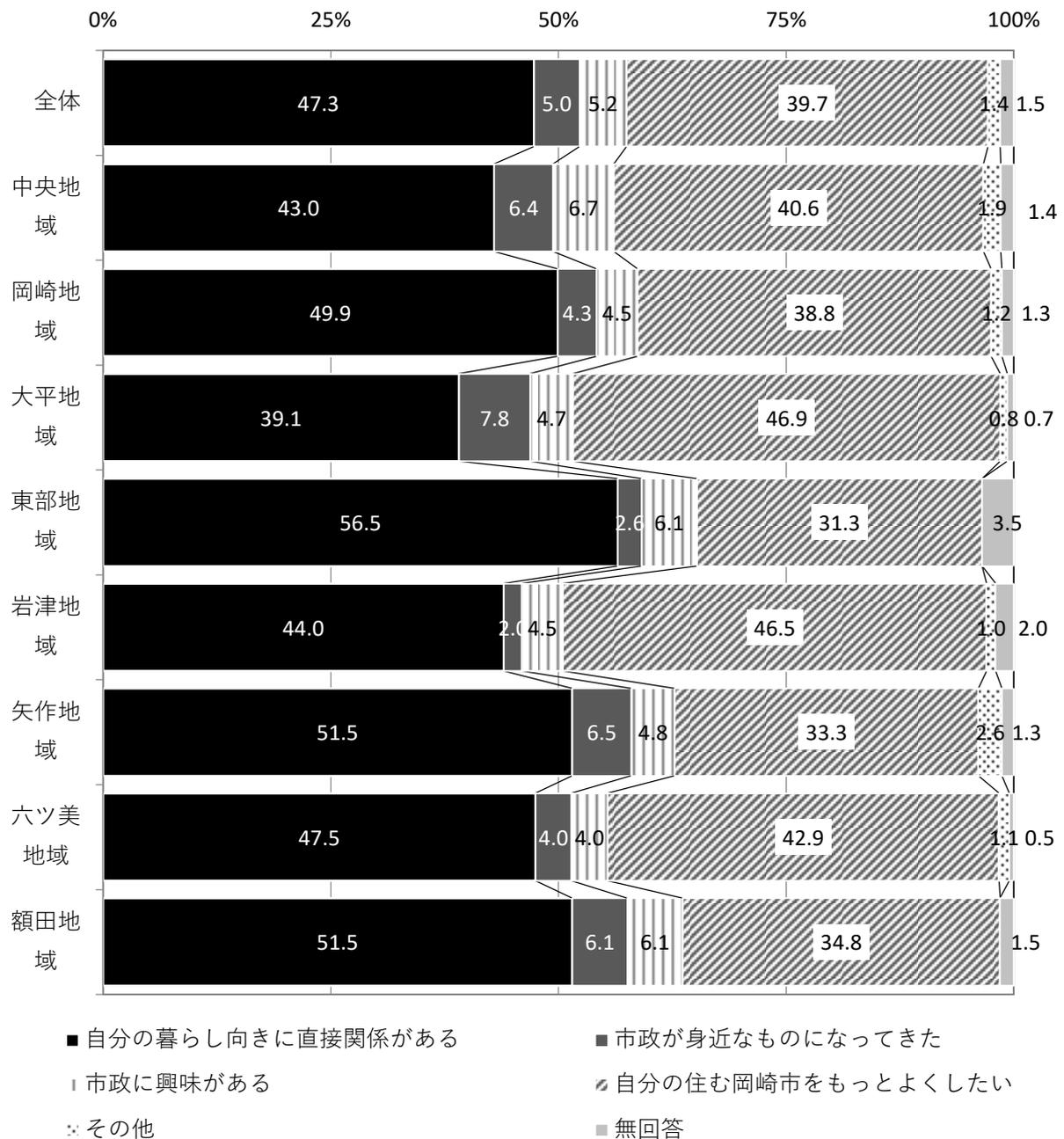
図 5-1 市政に関心がある理由（上段：単純、下段：経年変化）



<地域別>

「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答が多かったのは、順に東部地域（56.5%）、額田地域・矢作地域（51.5%）となっている。また、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」との回答が多かったのは大平地域（46.9%）、岩津地域（46.5%）、六ツ美地域（42.9%）である。

図 5-1a 市政に関心がある理由（地域別）



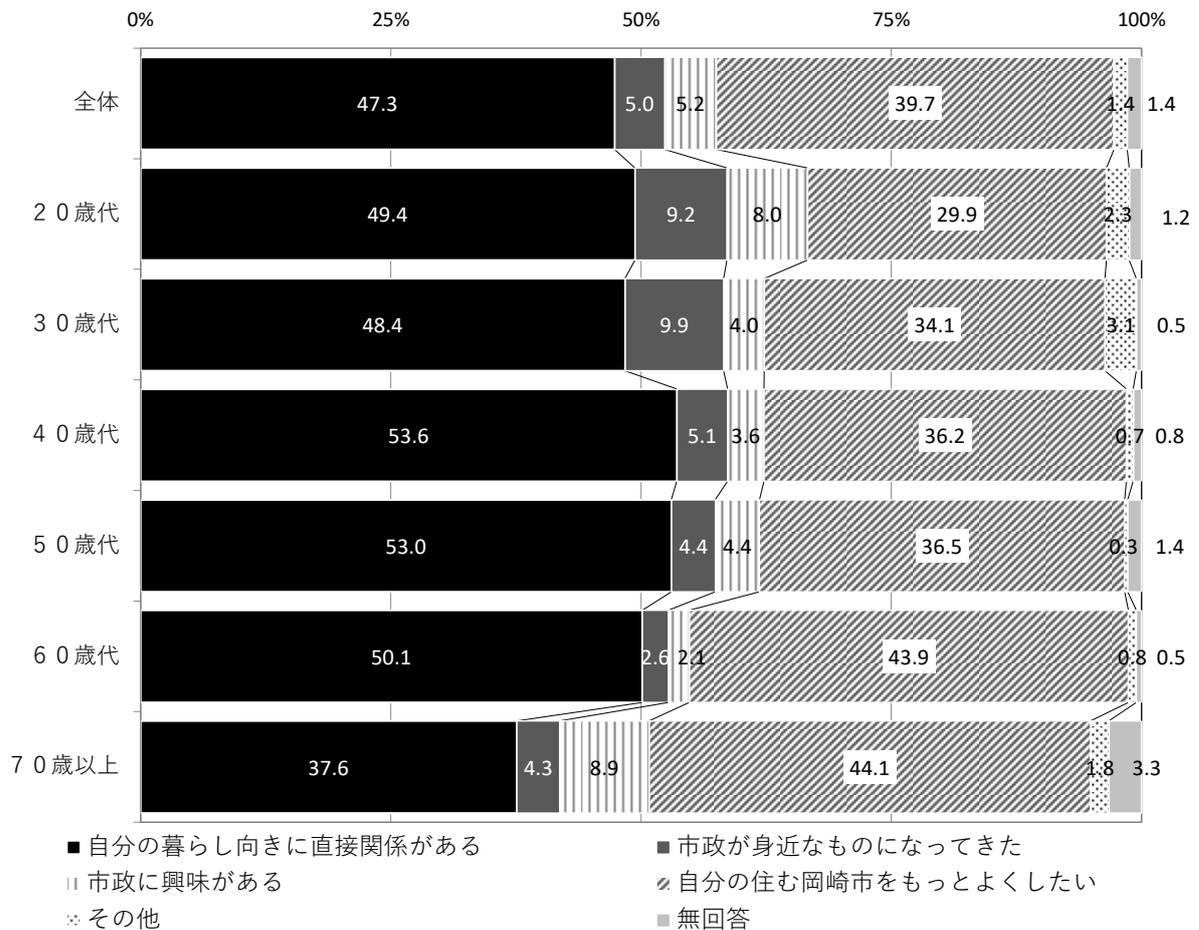
<年齢別>

40歳代から60歳代にかけては、「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答が50%を超えており、40歳代以降は年齢を重ねるにつれて減少している。

「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」との回答は20歳代が29.9%であるが、こちらは年齢を重ねるにつれて増加しており、60歳代以上では4割を超える。

また、「市政が身近なものになってきた」、「市政に興味がある」との回答は、20歳代と30歳代で高い傾向にあるが、40歳代～60歳代では低くなっている。

図 5-1b 市政に関心がある理由（年齢別）



問 11-2 市政に関心がない理由

問11で、市政に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた人に、市政に関心がない理由についてうかがったところ、「市政が身近なものでない」との回答が60.4%ともっとも多くなっており、他の選択肢に大差をつけている。次いで「市政に興味がない」（18.7%）、「自分の暮らし向きに直接関係がない」（16.7%）が多くなっている。

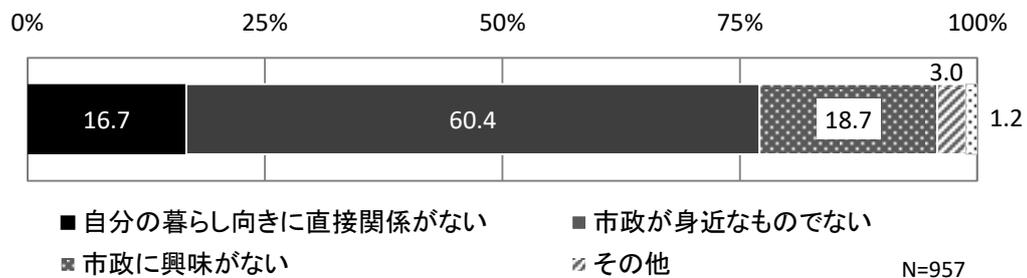
問 1 1 - 2 それはどういった理由からですか。次のものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 5 - 2 市政に関心がない理由

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	
	全体	自分の暮らし向きに直接関係がない	市政が身近なものでない	市政に興味がない	その他	無回答
回答者数	957	160	578	179	29	11
割合	100.0	16.7	60.4	18.7	3.0	1.2

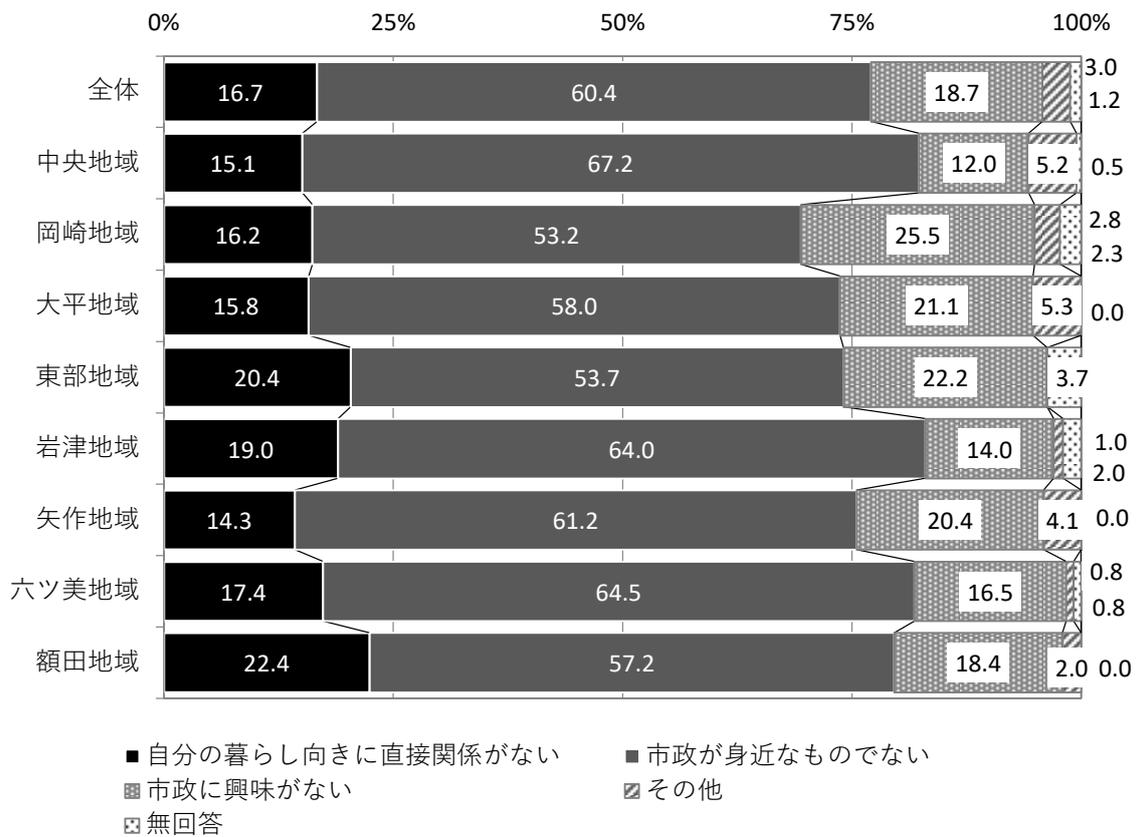
図 5 - 2 市政に関心がない理由



<地域別>

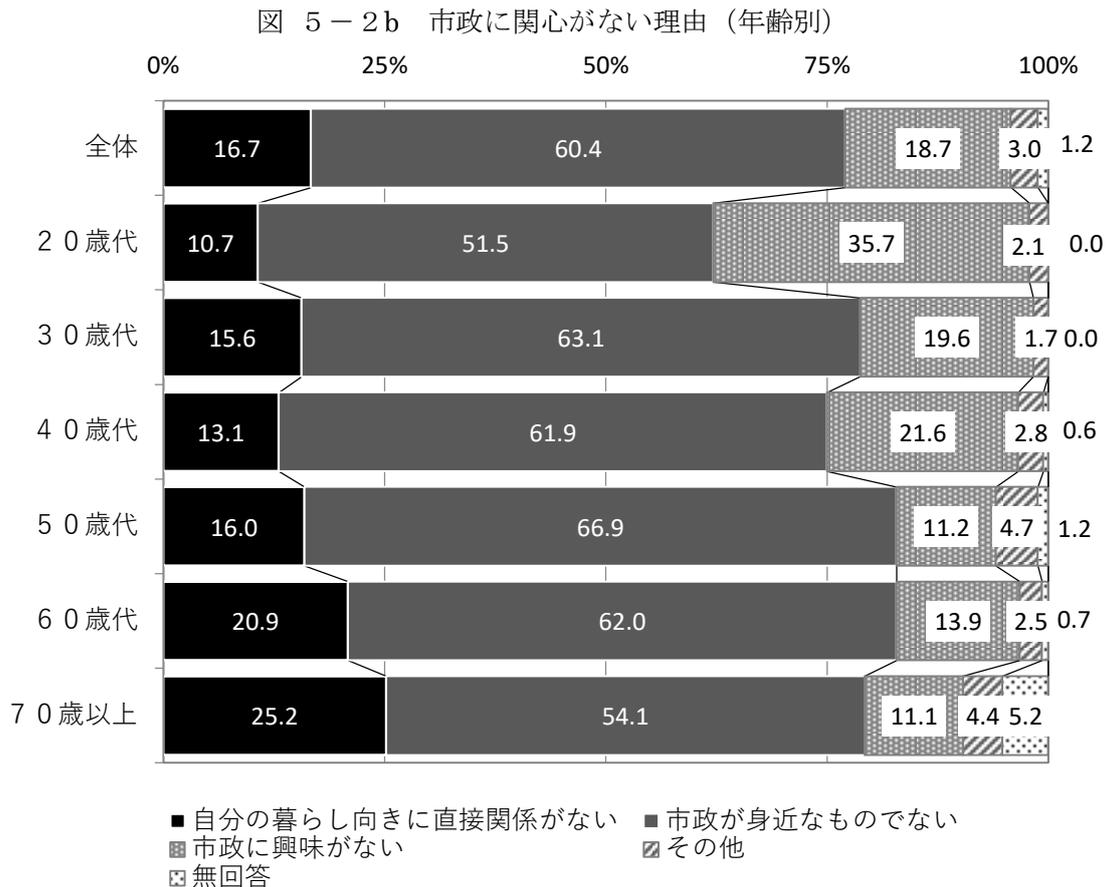
「市政が身近なものでない」が特に多かったのは中央地域（67.2%）、六ツ美地域（64.5%）、岩津地域（64.0%）であり、6割を超えている。「自分の暮らし向きに直接関係がない」は、額田地域（22.4%）、東部地域（20.4%）で比較的多い。「市政に興味がない」は、岡崎地域（25.5%）、東部地域（22.2%）、大平地域（21.1%）で多く、2割を超えている。

図 5-2a 市政に関心がない理由（地域別）



<年齢別>

「市政が身近なものでない」は、いずれの年齢でももっとも多く、5割から6割を占めている。
 「自分の暮らし向きに直接関係がない」は、40歳代以降は、年齢が上がるにつれて割合が多くなっている。その一方、「市政に興味がない」は、20歳代では35.7%と突出して高いが、こちらは、年齢が上がるにつれて、概ね減少する傾向にある。



問 11-3 市政に関心を持ってもらうための施策

問11で、市政に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた人に、市政に関心を持ってもらうための施策についてうかがったところ、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が37.1%ともっとも多くなっている。次いで「市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める」（21.7%）が多くなっている。

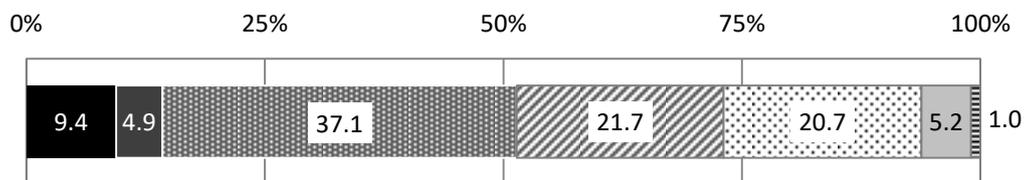
問 1 1 - 3 (問 1 1 で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方のみ)
 市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 5 - 3 市政に関心を持ってもらう施策

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	6	
	全体	市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する	市政に対する市民参加の機会や、勉強会、講習会等を増やす	岡崎市をもっと魅力的なまちにする	市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める	わからない	その他	無回答
回答者数	946	89	46	351	205	196	49	10
割合	100.0	9.4	4.9	37.1	21.7	20.7	5.2	1.0

図 5 - 3 市政に関心を持ってもらう施策

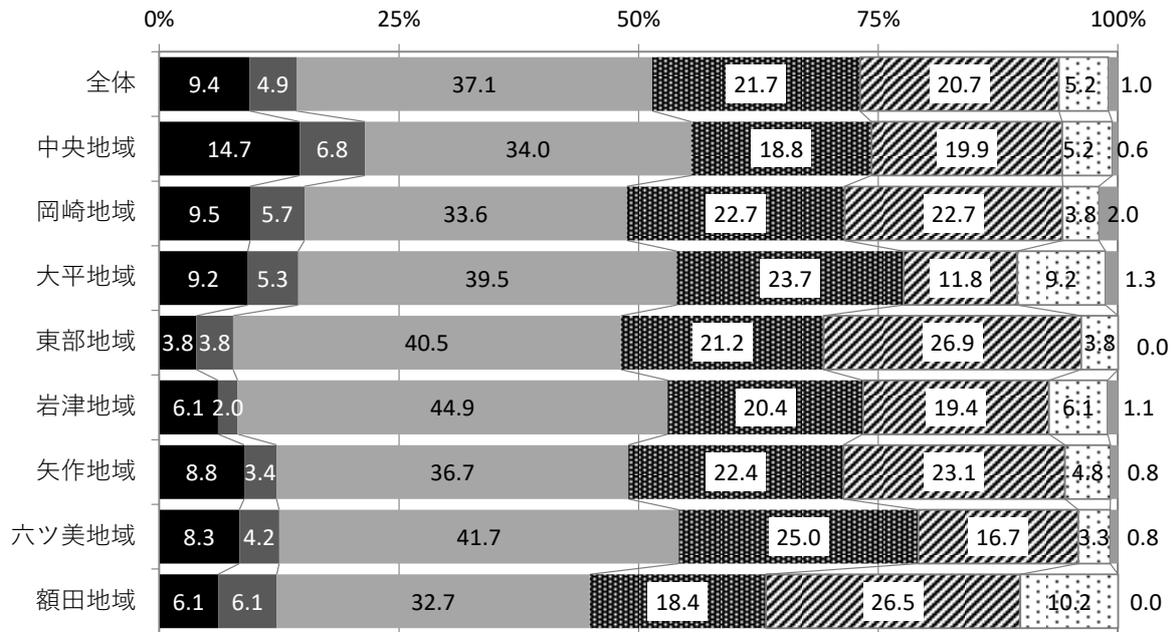


- 市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する
 - 市政に対する市民参加の機会や、勉強会、講習会等を増やす
 - ▣ 岡崎市をもっと魅力的なまちにする
 - ▤ 市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める
 - ▥ わからない
 - その他
 - ▨ 無回答
- N=946

<地域別>

「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答は、岩津地域（44.9%）と六ツ美地域（41.7%）で多かった。全体で次に回答の多かった「市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める」は、六ツ美地域（25.0%）、大平地域（23.7%）、岡崎地域（22.7%）で多くなっている。

図 5-3a 市政に関心を持ってもらう施策（地域別）



- 市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する
- 市政に対する市民参加の機会や、勉強会、講習会等を増やす
- 岡崎市をもっと魅力的なまちにする
- 市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める
- わからない
- その他
- 無回答

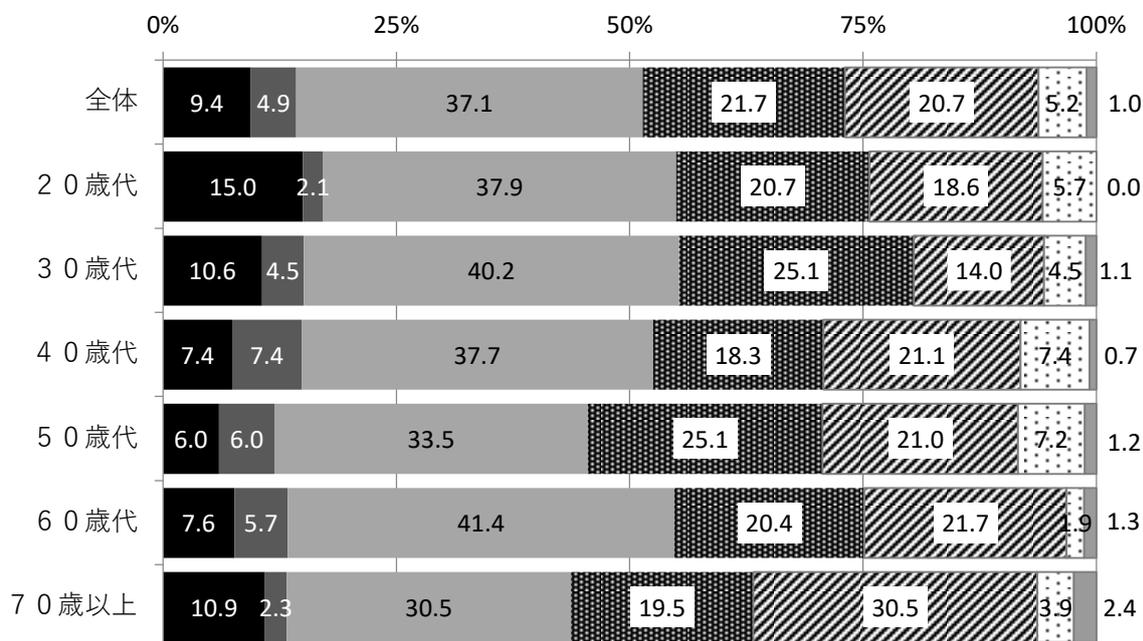
<年齢別>

20歳代から60歳代にかけて、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答がもっとも多くなっており、60歳代は41.4%と特に多くなっている。

「市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する」との回答は20歳代で15.0%と他の年齢と比して多くなっているが、以降50歳代まで年齢が上がるにつれて少なくなっている。

また、「わからない」は、概ね年齢が上がるにつれて多くなっており、70歳以上では、3割近くを占めている。

図 5-3b 市政に関心を持ってもらう施策（年齢別）



- 市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する
- 市政に対する市民参加の機会や、勉強会、講習会等を増やす
- 岡崎市をもっと魅力的なまちにする
- 市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める
- わからない
- その他
- 無回答

問12 まちづくりへの参画について

まちづくりへどのような形で関わっていきたいかをうかがったところ、「町内会や地域ボランティアなど特定の団体による活動ではないが、何か地域に貢献したい」が 30.5%と最も多く、次いで「わからない」が 23.0%と続いた。

「町内会や地域ボランティアなど特定の団体による活動ではないが、何か地域に貢献したい」が最も多い回答であったことから、まちづくりに参画する意思はあるものの、具体的な活動について確たるイメージを持っていない市民が多いことがうかがえる。

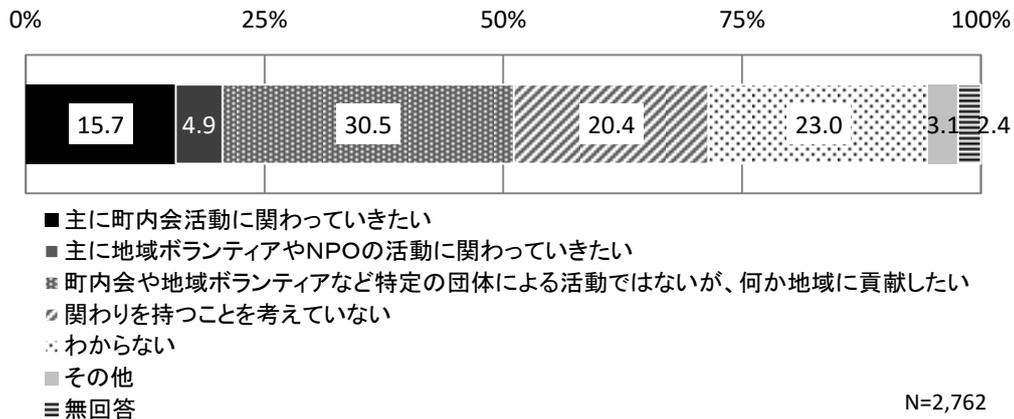
問12 あなたは、今後、岡崎市のまちづくりに対して、どのような関わりを持ちたいとお考えですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 6 まちづくりへの参画について

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	6	
	全体	主に町内会活動に関わっていき たい	主に地域ボラン ティアやNPO の活動に関わ っていきたい	町内会や地域ボ ランティアなど 特定の団体によ る活動ではない が、何か地域に 貢献したい	関わりを持つこ とを考えていな い	わからない	その他	無回答
回答者数	2762	435	136	843	563	636	86	63
割合	100.0	15.7	4.9	30.5	20.4	23.0	3.1	2.4

図 6 まちづくりへの参画について



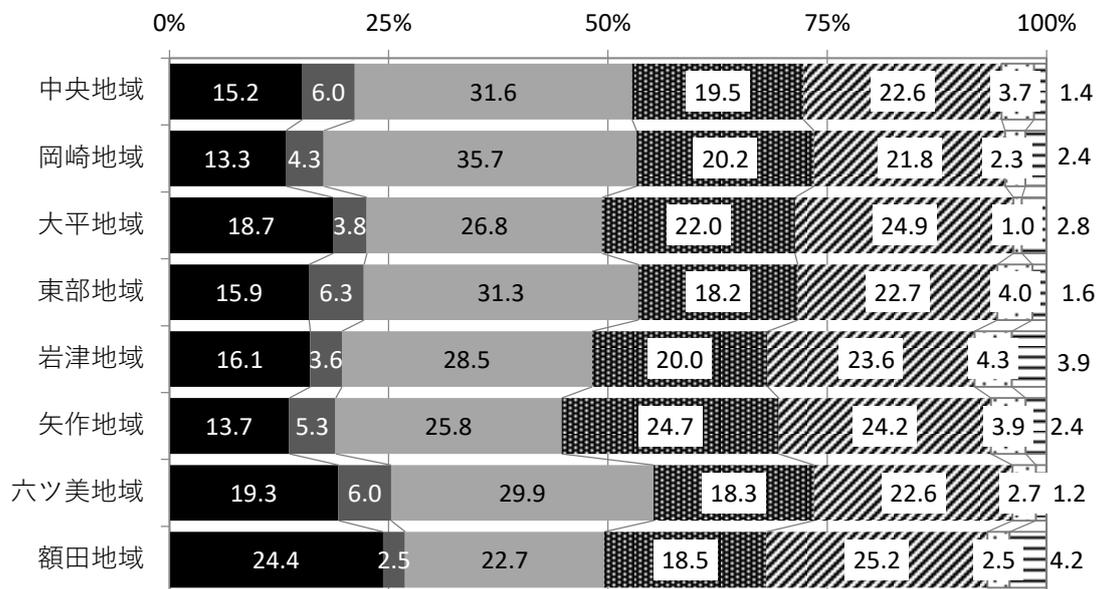
<地域別>

全体でもっとも多い回答がみられた「町内会や地域ボランティアなど特定の団体による活動ではないが、何か地域に貢献したい」は、岡崎地域で35.7%であり、次いで中央地域（31.6%）、東部地域（31.3%）と続き、団体には属さないが地域に貢献したいという意思はある市民が多いことがうかがえる。

否定的な回答である「関わりを持つことを考えていない」は、いずれの地域でも2割前後であり、矢作地域（24.7%）、大平地域（22.0%）が特に多かった。

また、「主に町内活動に関わっていききたい」との回答は、額田地域が特に多く24.4%であった。

図 6a まちづくりへの参画について（地域別）

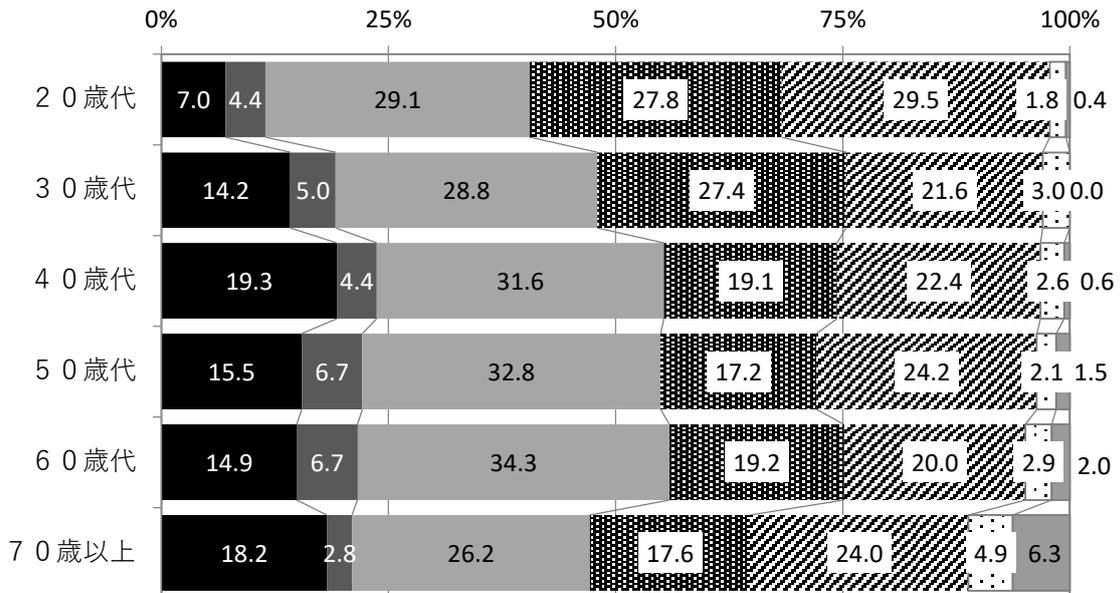


- 主に町内会活動に関わっていきたい
- 主に地域ボランティアやNPOの活動に関わっていきたい
- 町内会や地域ボランティアなど特定の団体による活動ではないが、何か地域に貢献したい
- 関わりを持つことを考えていない
- わからない
- その他
- 無回答

<年齢別>

年齢別にみると「関わりを持つことを考えていない」「わからない」との回答が、20歳代では合わせて57.3%と全年齢の中でもっとも多く、次いで30歳代でも49.0%となり、若い世代のまちづくりへの参画意識が他世代と比較して低い。70歳以上でもこれらの回答は多いが、「主に町内会活動に関わっていききたい」との肯定的な回答も18.2%と多い。

図 6b まちづくりへの参画について（年齢別）



- 主に町内会活動に関わっていききたい
- 主に地域ボランティアやNPOの活動に関わっていききたい
- 町内会や地域ボランティアなど特定の団体による活動ではないが、何か地域に貢献したい
- 関わりを持つことを考えていない
- わからない
- その他
- 無回答

C 就業について

問13 就業継続意向

問3で「勤め人（常勤）」、「自営業・家業（農林業、商業、工業、サービス業など）」、「パート・アルバイト」とした方に、就業継続意向についてうかがったところ、「定年など関係なく働けるうちはできるだけ働きたい」の割合が56.2%ともっとも高く、次いで、「定年後も年金を満額受給できる65歳まで働きたい」との割合が23.0%であった。

以上より、全体の8割近い市民が、一般的な定年とされる60歳以降も働きたいと答えており、市民の就業継続意向は高い。

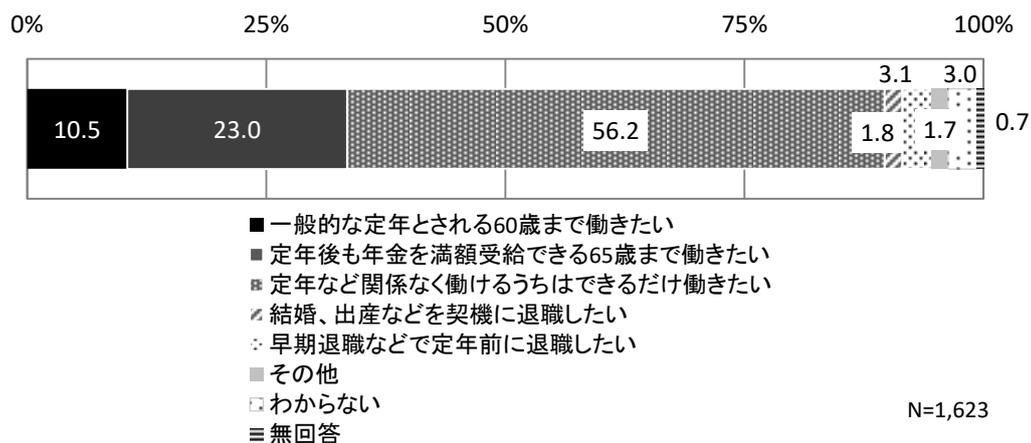
問13（問3で「勤め人（常勤）」、「自営業・家業（農林業、商業、工業、サービス業など）」、「パート・アルバイト」と回答した方のみ）
 長寿命化が進み人生100年時代を迎えるといわれる中、どのぐらいまで働きたいと考えていますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表7 就業について

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	6	7	
	全体	一般的な定年とされる60歳まで働きたい	定年後も年金を満額受給できる65歳まで働きたい	定年など関係なく働けるうちはできるだけ働きたい	結婚、出産などを契機に退職したい	早期退職などで定年前に退職したい	その他	わからない	無回答
回答者数	1623	170	373	912	30	50	28	49	11
割合	100.0	10.5	23.0	56.2	1.8	3.1	1.7	3.0	0.7

図7 就業について

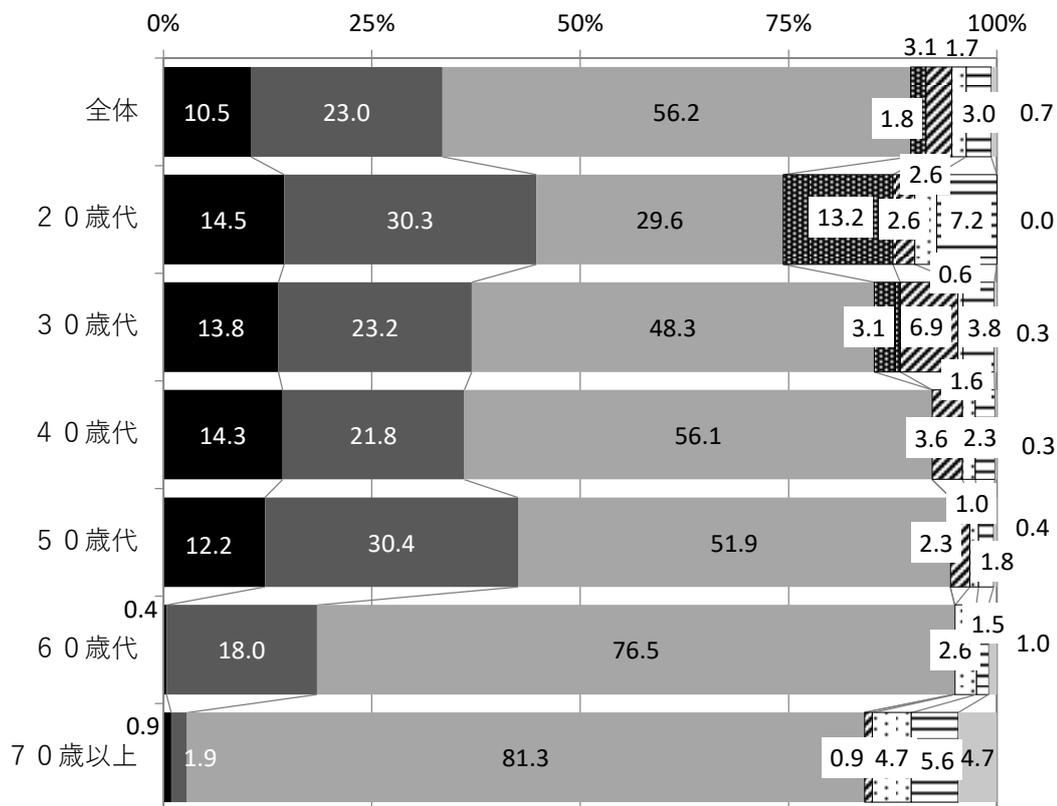


<年齢別>

30歳代以上では「定年など関係なく働けるうちはできるだけ働きたい」との回答がもっとも多く、70歳以上では81.3%となった。この回答の次に、「定年後も年金を満額受給できる65歳まで働きたい」との回答も20歳代から60歳代まで多かった。以上から、60歳以降も働きたいといった就業継続意向は高いことがうかがえる。

一方で「結婚、出産などを契機に退職したい」は、20歳代では13.2%と一定程度の回答が得られた。

図 7a 就業について (年齢別)



- 一般的な定年とされる60歳まで働きたい
- 定年後も年金を満額受給できる65歳まで働きたい
- 定年など関係なく働けるうちはできるだけ働きたい
- 結婚、出産などを契機に退職したい
- 早期退職などで定年前に退職したい
- その他
- わからない
- 無回答

問14 今後、働き続けていくうえでの不安

問3で「勤め人（常勤）」、「自営業・家業（農林業、商業、工業、サービス業など）」、「パート・アルバイト」とした方に、今後、働き続けていくうえでの不安についてうかがったところ、「自身の健康に関すること」の割合が60.9%ともっとも高く、次いで「介護と両立すること」（37.8%）、「賃金に関すること」（33.6%）と続いた。

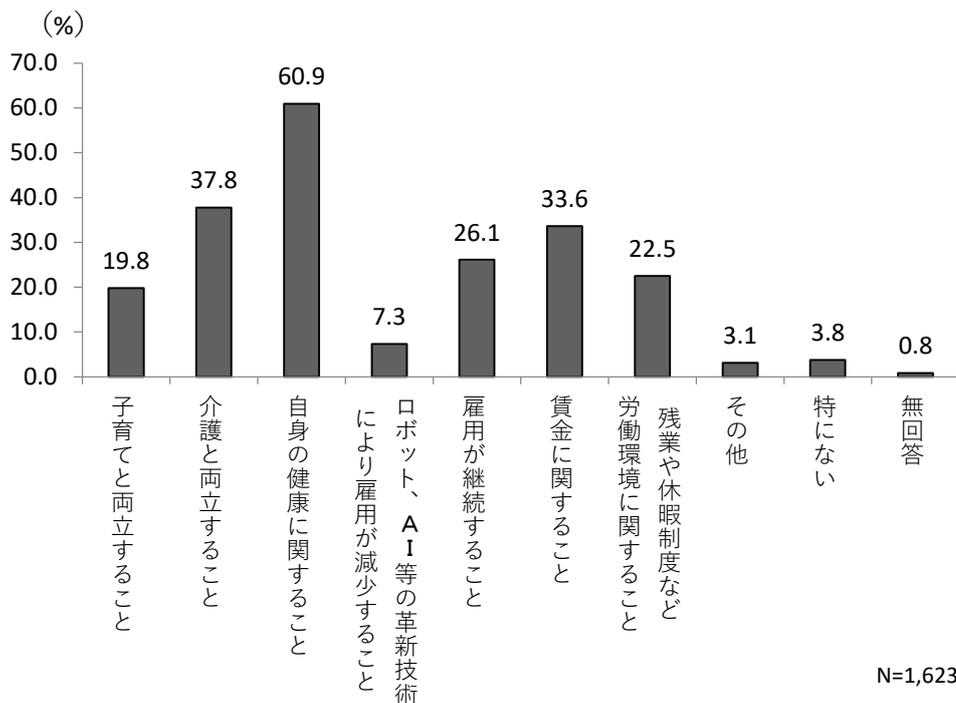
働き続けていくうえで、「自身の健康に関すること」および「介護と両立すること」といった健康・福祉に関して不安を抱えている市民が多いことがうかがえる。

問14 今後、働き続けていく上で、不安に思うことがありますか。次の中から当てはまるものを全て選び、その番号を○で囲んでください。

表 8 今後、働き続けていくうえでの不安

		(単位：人、%)									
No.	全体	1 子育てと両立すること	2 介護と両立すること	3 自身の健康に関すること	4 ロボット、AI等の革新技术により雇用が減少すること	5 雇用が継続すること	6 賃金に関すること	7 残業や休暇制度など労働環境に関すること	8 その他	9 特になし	無回答
回答者数	1623	321	613	989	119	424	546	365	51	61	13
割合	100.0	19.8	37.8	60.9	7.3	26.1	33.6	22.5	3.1	3.8	0.8

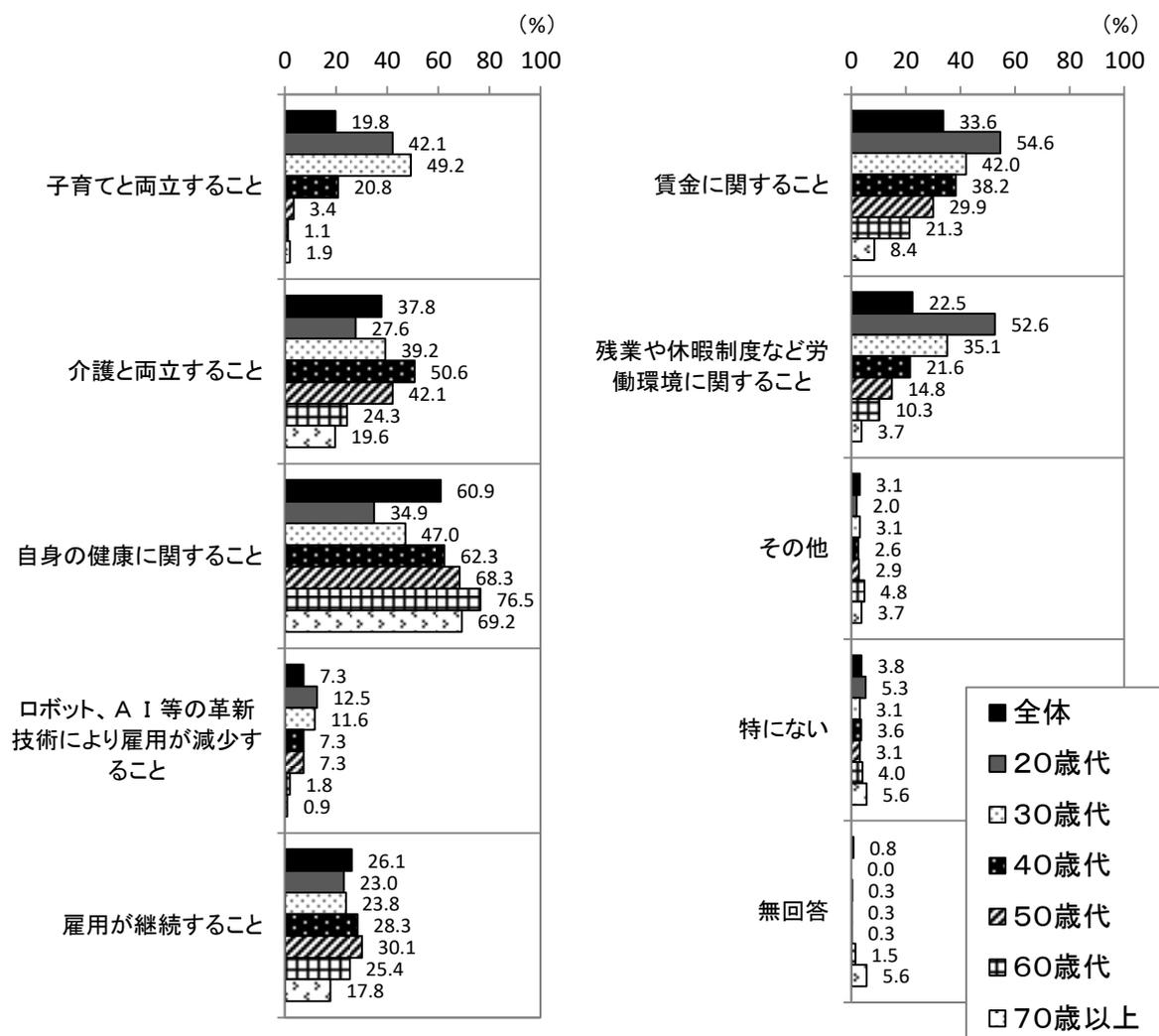
図 8 今後、働き続けていくうえでの不安



<年齢別>

年齢別にみると「自身の健康に関すること」は、40歳代以上の6割を超える市民が不安として捉えている。「賃金に関すること」や「残業や休暇制度など労働環境に関すること」といった労働条件に関係することについては、20歳代がもっとも不安に感じており、年齢が上がるにつれて減少していく傾向にある。また、「介護と両立すること」は、自分の親世代が後期高齢者となる40歳代でもっとも高く、50.6%が不安に感じている。

図 8a 今後、働き続けていくうえでの不安（年齢別）



問15 就業意向の有無

問3で「専業主婦（夫）」、「無職」と回答した方に、今後の就業意向の有無についてうかがったところ、「働きたくない」の割合が43.7%と最も高く、次いで「条件が整えば働きたい」が33.8%という結果となった。

「条件が整えば働きたい」（33.8%）および「働きたい」（8.8%）を合わせると4割近くとなることから、働きたくても働けない人など、就業に関して前向きな市民は少なくないと推測される。

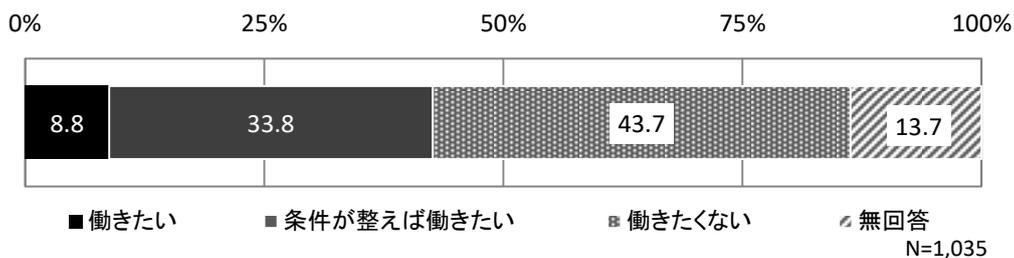
問15（問3で「専業主婦（夫）」、「無職」と回答した方のみ）
 あなたは今後、働きたいと考えていますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 9 就業意向の有無

（単位：人、%）

No.		1	2	3	
	全体	働きたい	条件が整えば働きたい	働きたくない	無回答
回答者数	1035	91	350	452	142
割合	100.0	8.8	33.8	43.7	13.7

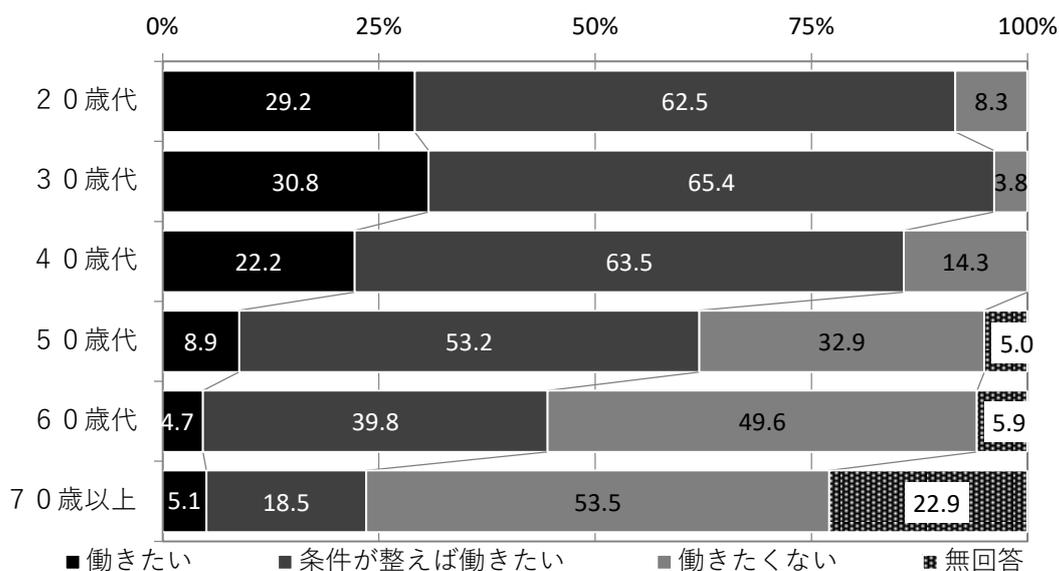
図 9 就業意向の有無



<年齢別>

年齢別にみると「働きたい」「条件が整えば働きたい」との回答は、30歳代（96.2%）で最も多く、次いで20歳代（91.7%）となった。30歳代以降については、年齢が上がるごとに減少していく傾向がみられたが、70歳以上においても23.6%が「働きたい」「条件が整えば働きたい」と回答しており、就業意向を持つ高齢者が一定数存在することがうかがえる。

図 9a 就業意向の有無（年齢別）



問 15-1 就業を希望する理由

問 15 で「働きたい」、「条件を整えば働きたい」と答えた回答者に、就業を希望する理由についてうかがったところ、「金銭的なゆとりが欲しいから」(27.0%) がもっとも多く、次いで「生活費を稼ぎたいから」(15.6%) という結果となり、金銭に関する理由が多くあげられた。

上記 2 つの理由の後、「生活の楽しみが欲しいから」(15.2%)、「社会との接点を持ちたいから」(14.5%)、「仕事を通じて社会貢献したいから」(10.2%) と続いていることから、金銭面ではあまり問題がなくとも、就業をしていない現状に対して、何らかの物足りなさを感じている市民もある一定数存在していることがうかがえる。

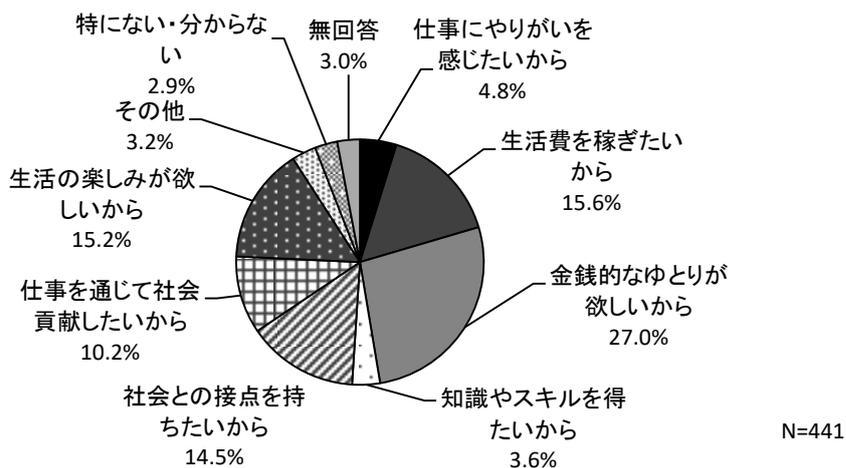
問 15-1 (問 15 で「働きたい」、「条件を整えば働きたい」と答えた方のみ)
 あなたが働きたいと考えるのは、どのような理由からですか。次の中から主なものを 1 つ
 選び、その番号を○で囲んでください。

表 10 就業を希望する理由

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	全体	仕事にやりがいを感じたいから	生活費を稼ぎたいから	金銭的なゆとりが欲しいから	知識やスキルを得たいから	社会との接点を持ちたいから	仕事を通じて社会貢献したいから	生活の楽しみが欲しいから	その他	特にない・分からない	無回答
回答者数	441	21	69	119	16	64	45	67	14	13	13
割合	100.0	4.8	15.6	27.0	3.6	14.5	10.2	15.2	3.2	2.9	3.0

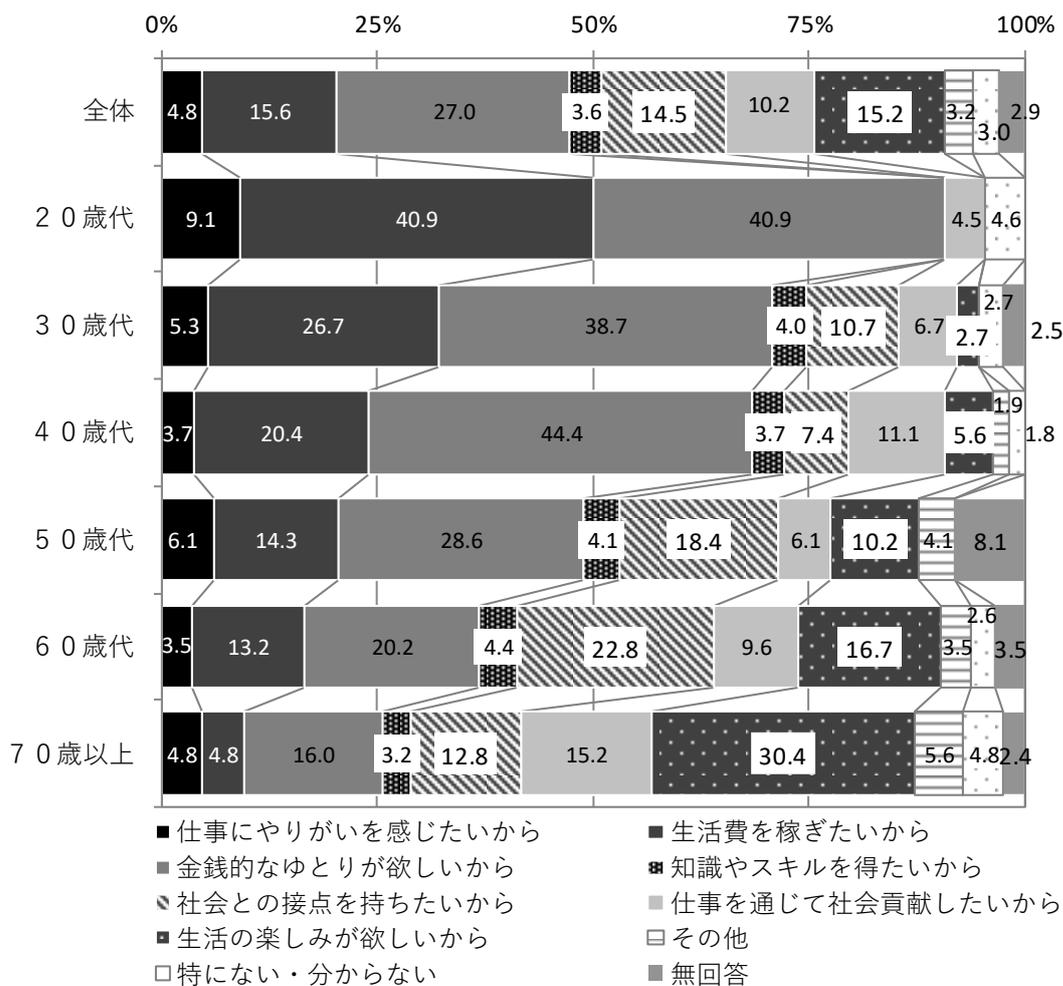
図 10 就業を希望する理由



<年齢別>

年齢別にみると20歳代は、「生活費を稼ぎたいから」「金銭的なゆとりが欲しいから」といった金銭面に関連する回答が8割以上を占める一方、「仕事にやりがいを感じたいから」の回答も9.1%と全世代でもっとも多い。年齢が上がるにつれて金銭面に関連する回答は減少し、その一方で「社会との接点を持ちたいから」、「生活の楽しみが欲しいから」との回答が増加する傾向にある。

図 10a 就業を希望する理由（年齢別）



問 15-2 就業する上で望ましい環境

就業するために整うとよい環境をうかがったところ、無回答を除いては、「短時間勤務やフレックスタイムなどの柔軟な働き方ができること」(20.8%)が突出して多い結果となった。

問 15-1 とこの結果から、現在の自分のライフスタイルにあまり影響のない範囲でお金を稼ぎ、少しでも余裕のある生活を送りたい、社会とのつながりを持ちたいといったように、現在働いていない市民が就業を考える上では、ライフワークバランスをもっとも重視していることがうかがえる。

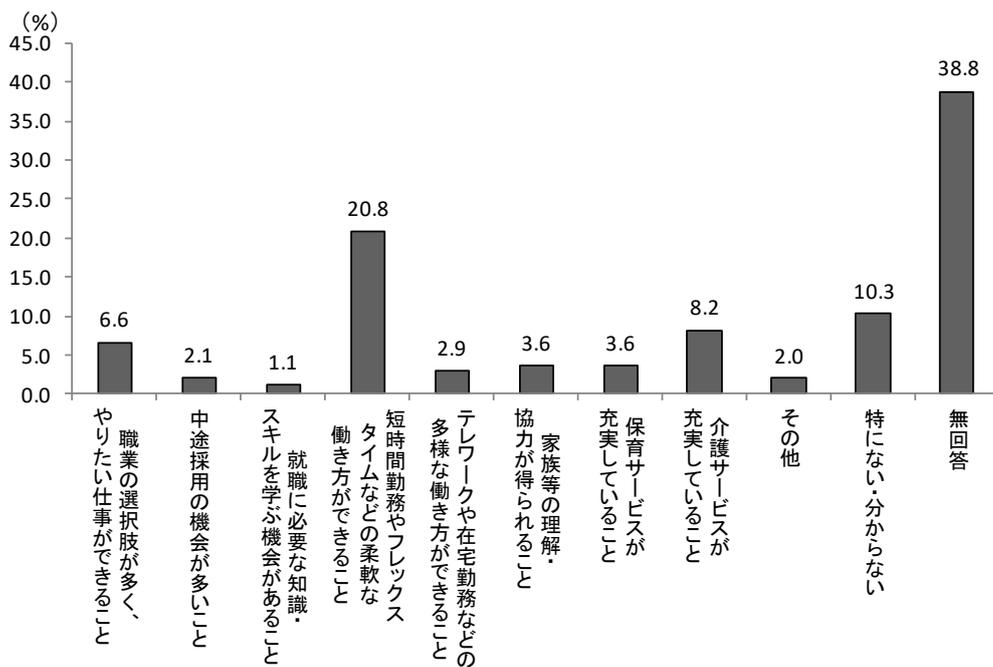
問 15-2 今後、あなたが働くために、どのような環境が整うとよいと考えますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 11 就業する上で望ましい環境

(単位：人、%)

No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	全体	職業の選択肢が多く、やりたい仕事ができること	中途採用の機会が多いこと	就職に必要な知識・スキルを学ぶ機会があること	短時間勤務やフレックスタイムなどの柔軟な働き方ができること	テレワークや在宅勤務などの多様な働き方ができること	家族等の理解・協力が得られること	保育サービスが充実していること	介護サービスが充実していること	その他	特になし・分からない	無回答
回答者数	893	59	19	10	186	26	32	32	73	18	92	346
割合	100.0	6.6	2.1	1.1	20.8	2.9	3.6	3.6	8.2	2.0	10.3	38.8

図 11 就業する上で望ましい環境

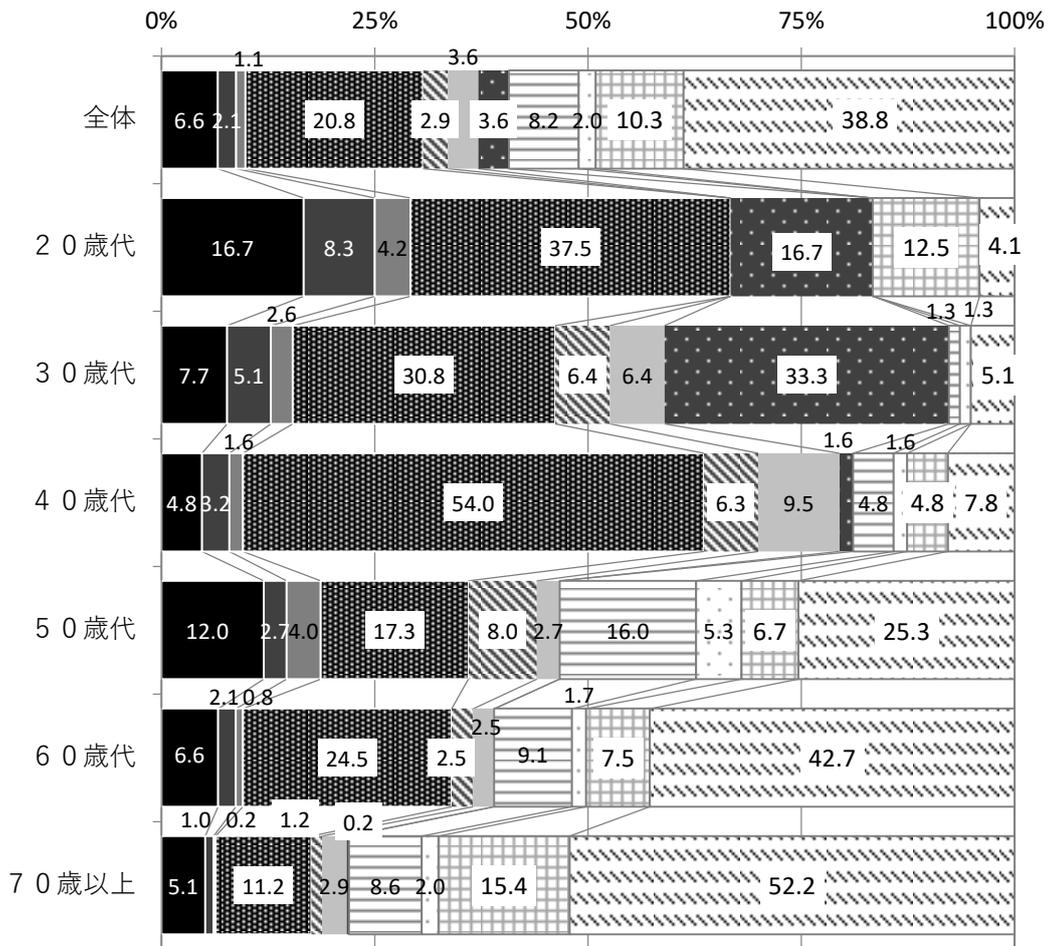


N=893

<年齢別>

年齢別にみると「職業の選択肢が多く、やりたい仕事ができること」の回答は、20歳代でもっとも多く16.7%の回答が得られた。また、「短時間勤務やフレックスタイムなどの柔軟な働き方ができること」は、40歳代でもっとも多く54.0%となった。

図 1 1 a 就業する上で望ましい環境（年齢別）



- 職業の選択肢が多く、やりたい仕事ができること
- 中途採用の機会が多いこと
- 就職に必要な知識・スキルを学ぶ機会があること
- 短時間勤務やフレックスタイムなどの柔軟な働き方ができること
- テレワークや在宅勤務などの多様な働き方ができること
- 家族等の理解・協力が得られること
- 保育サービスが充実していること
- 介護サービスが充実していること
- その他
- 特にない・分からない
- 無回答

D 市の取組に対する満足度・重要度について

問16 市民自治の満足度

市の行政施策に係る「現状の満足度」をうかがったところ、「6. 地域医療の充実」(46.9%)、「5. 保健衛生の充実」(45.0%)、「13. 良好な生活環境の確保」(39.5%)の項目で「満足している」「やや満足している」の回答が多く、満足度が高い一方、「20. 快適移動社会の実現」(26.7%)、「19. 都市魅力の向上」(24.5%)の項目で「不満である」「やや不満である」の回答が多く、満足度が低くなっている。

問16 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

表 1 2 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」

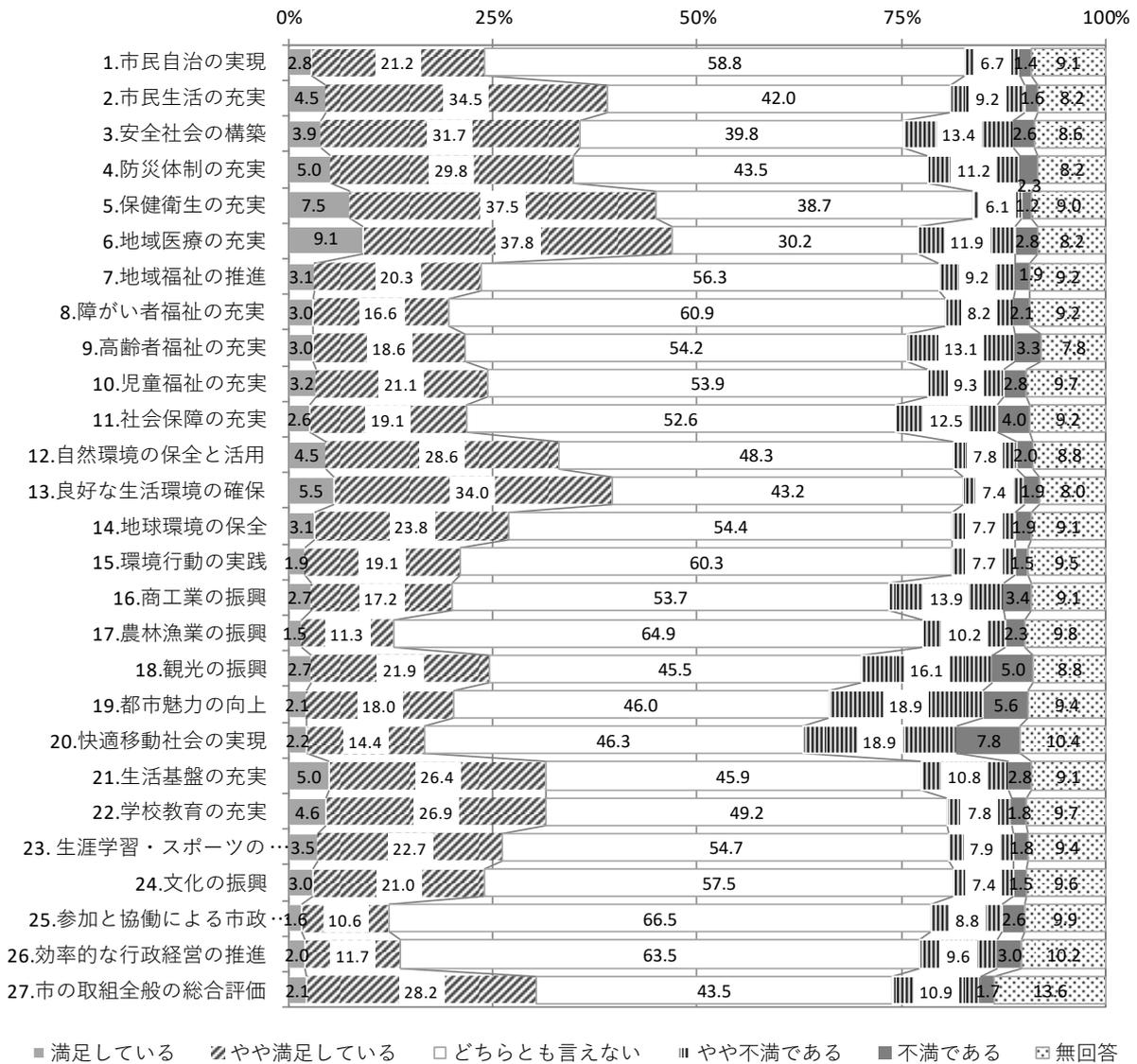
(単位：人、%)

問16(1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
1.市民自治の実現	2,762	76	585	1,625	185	38	253
	100.0	2.8	21.2	58.8	6.7	1.4	9.1
2.市民生活の充実	2,762	123	954	1,159	255	45	226
	100.0	4.5	34.5	42.0	9.2	1.6	8.2
3.安全社会の構築	2,762	107	876	1,099	371	73	236
	100.0	3.9	31.7	39.8	13.4	2.6	8.6
4.防災体制の充実	2,762	139	824	1,202	308	64	225
	100.0	5.0	29.8	43.5	11.2	2.3	8.2
5.保健衛生の充実	2,762	206	1,036	1,069	169	32	250
	100.0	7.5	37.5	38.7	6.1	1.2	9.0
6.地域医療の充実	2,762	252	1,044	833	330	76	227
	100.0	9.1	37.8	30.2	11.9	2.8	8.2
7.地域福祉の推進	2,762	86	562	1,555	255	52	252
	100.0	3.1	20.3	56.3	9.2	1.9	9.2
8.障がい者福祉の充実	2,762	83	458	1,683	227	59	252
	100.0	3.0	16.6	60.9	8.2	2.1	9.2
9.高齢者福祉の充実	2,762	83	515	1,497	363	92	212
	100.0	3.0	18.6	54.2	13.1	3.3	7.8
10.児童福祉の充実	2,762	89	583	1,490	257	76	267
	100.0	3.2	21.1	53.9	9.3	2.8	9.7

(単位：人、%)

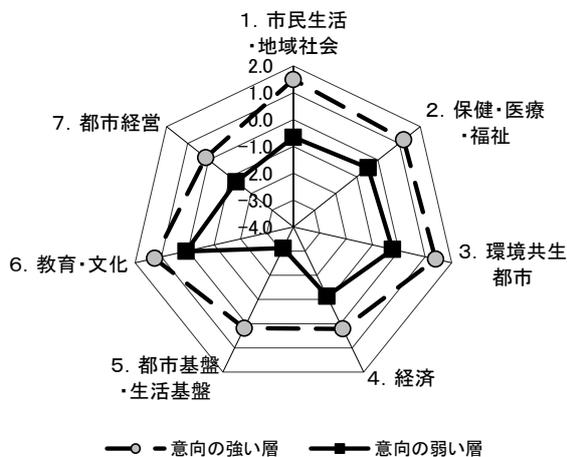
問16(1)市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
11.社会保障の充実	2,762	72	528	1,453	346	111	252
	100.0	2.6	19.1	52.6	12.5	4.0	9.2
12.自然環境の保全と活用	2,762	123	791	1,334	215	55	244
	100.0	4.5	28.6	48.3	7.8	2.0	8.8
13.良好な生活環境の確保	2,762	152	938	1,192	204	52	224
	100.0	5.5	34.0	43.2	7.4	1.9	8.0
14.地球環境の保全	2,762	87	656	1,502	212	52	253
	100.0	3.1	23.8	54.4	7.7	1.9	9.1
15.環境行動の実践	2,762	52	528	1,666	213	41	262
	100.0	1.9	19.1	60.3	7.7	1.5	9.5
16.商工業の振興	2,762	74	476	1,482	385	95	250
	100.0	2.7	17.2	53.7	13.9	3.4	9.1
17.農林漁業の振興	2,762	41	313	1,792	281	64	271
	100.0	1.5	11.3	64.9	10.2	2.3	9.8
18.観光の振興	2,762	75	604	1,258	446	139	240
	100.0	2.7	21.9	45.5	16.1	5.0	8.8
19.都市魅力の向上	2,762	57	497	1,271	521	154	262
	100.0	2.1	18.0	46.0	18.9	5.6	9.4
20.快適移動社会の実現	2,762	61	398	1,280	522	216	285
	100.0	2.2	14.4	46.3	18.9	7.8	10.4
21.生活基盤の充実	2,762	138	730	1,269	297	76	252
	100.0	5.0	26.4	45.9	10.8	2.8	9.1
22.学校教育の充実	2,762	127	743	1,359	216	50	267
	100.0	4.6	26.9	49.2	7.8	1.8	9.7
23.生涯学習・スポーツの推進	2,762	97	626	1,512	217	51	259
	100.0	3.5	22.7	54.7	7.9	1.8	9.4
24.文化の振興	2,762	82	579	1,589	204	42	266
	100.0	3.0	21.0	57.5	7.4	1.5	9.6
25.参加と協働による市政の運営	2,762	44	294	1,836	242	72	274
	100.0	1.6	10.6	66.5	8.8	2.6	9.9
26.効率的な行政経営の推進	2,762	55	324	1,754	264	82	283
	100.0	2.0	11.7	63.5	9.6	3.0	10.2
27.市の取組全般の総合評価	2,762	59	779	1,201	301	47	375
	100.0	2.1	28.2	43.5	10.9	1.7	13.6

図 12 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」



次に問 16（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」について7つのカテゴリに分け、7つのカテゴリ別に問 8 の居住継続意向をグループ化して比較する。全体として居住継続意向が強い層はすべての項目に対し居住継続意向が弱い層よりも高い満足度評価をしている。特に「都市基盤・生活基盤」のカテゴリについては、意向の強い層と弱い層との間で現状満足度評価の得点に大きな差が見られた。

図 1 2（1）－1 居住継続意向別 満足度評価（カテゴリ別）

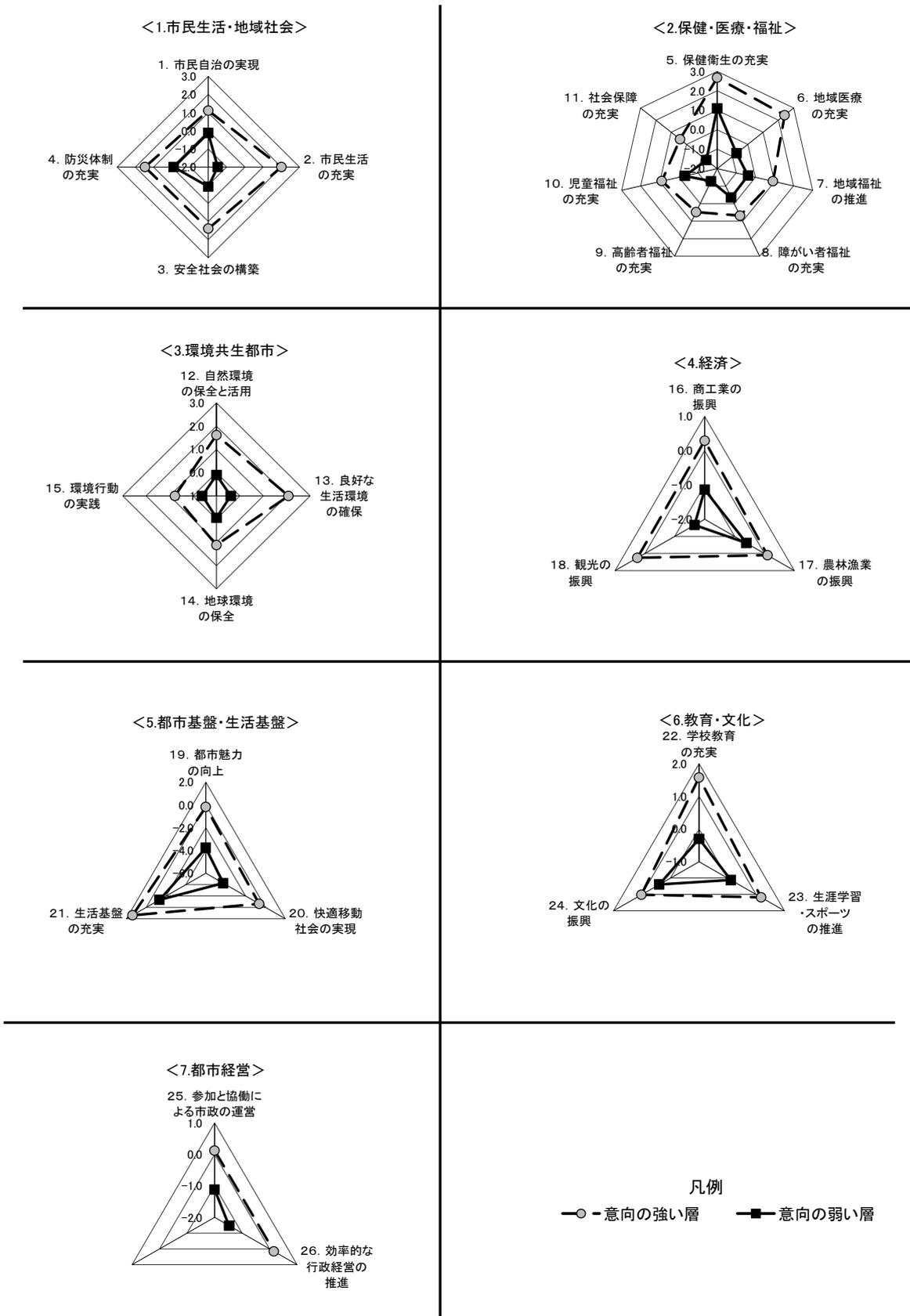


注：居住継続意向が「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」の回答を意向の強い意見、「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」を意向の弱い意見とした。問 16（1）現状の満足度についての1から26までの26項目を、その内容により「市民生活・地域社会」「保健・医療・福祉」「環境共生都市」「経済」「都市基盤・生活基盤」「教育・文化」「都市経営」の7カテゴリに分類し、カテゴリ別の平均点を算出した。問 8 の「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」の回答に、それぞれ2点、1点、1点、2点の得点を与え、各カテゴリの平均点にかけて算出した。なお、問 12（1）の各項目の満足度平均得点は『満足している』～『不満である』の回答数に、それぞれ、10点・5点・0点・-5点・-10点の得点を与え、合計得点を求め、有回答(『満足している』～『不満である』の何れかに回答があるもの)件数を母数として割り算を行っている。以降のチャートグラフの算出方法はこれに従った。

続いて問 8 の居住継続意向と、問 16（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」とを合わせたものについて、各カテゴリについて項目ごとにみたものが次ページの図 1 2（1）－2である。

各カテゴリ内で特にどの項目に満足しているかという傾向は、居住継続意向の強い層と弱い層とであまり違いが見られない場合が多い。強い層と弱い層で差が大きくなる傾向を示した（意向の弱い層が相対的に低い評価をした）項目は、市民生活・地域社会では「2. 市民生活の充実」、保険・医療・福祉では「6. 地域医療の充実」、環境共生都市では「13. 良好な生活環境の確保」、経済では「18. 観光の振興」、都市基盤・生活基盤では「20. 快適移動社会の実現」、教育・文化では「22. 学校教育の充実」、都市経営では「26. 効率的な行政経営の推進」である。

図 1 2 (1) - 2 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)



(参考) 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)

カテゴリ1. 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	1.12	-0.13	1.24
2. 市民生活の充実	2.00	-1.48	3.49
3. 安全社会の構築	1.40	-0.92	2.32
4. 防災体制の充実	1.47	-0.11	1.58

カテゴリ2. 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保健衛生の充実	2.67	1.10	1.58
6. 地域医療の充実	2.41	-0.74	3.14
7. 地域福祉の推進	0.92	-0.38	1.30
8. 障がい者福祉の充実	0.69	-0.35	1.04
9. 高齢者福祉の充実	0.48	-1.28	1.76
10. 児童福祉の充実	0.90	-0.31	1.21
11. 社会保障の充実	0.42	-1.29	1.72

カテゴリ3. 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	1.62	-0.10	1.72
13. 良好な生活環境の確保	2.07	-0.39	2.47
14. 地球環境の保全	1.12	-0.06	1.17
15. 環境行動の実践	0.77	-0.40	1.17

カテゴリ4. 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	0.29	-1.14	1.43
17. 農林漁業の振興	0.10	-0.61	0.71
18. 観光の振興	0.25	-1.66	1.92

カテゴリ5. 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	-0.18	-3.77	3.60
20. 快適移動社会の実現	-0.63	-4.25	3.62
21. 生活基盤の充実	1.38	-1.33	2.71

カテゴリ6. 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	1.58	-0.30	1.88
23. 生涯学習・スポーツの推進	1.18	0.12	1.06
24. 文化の振興	1.02	0.39	0.63

カテゴリ7. 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	0.12	-1.12	1.24
26. 効率的な行政経営の推進	0.16	-1.47	1.63

問 16（2） 市の行政施策に係る「今後の重要度」

市の行政施策に関わる重要度については、「6．地域医療の充実」（78.6%）、「4．防災体制の充実」（78.4%）、「3．安全社会の構築」（76.3%）、の項目で、「重要である」「やや重要である」の回答割合が高く、市民が重要性を感じている。

問 16 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

表 1 2（2）市の行政施策に係る「今後の重要度」

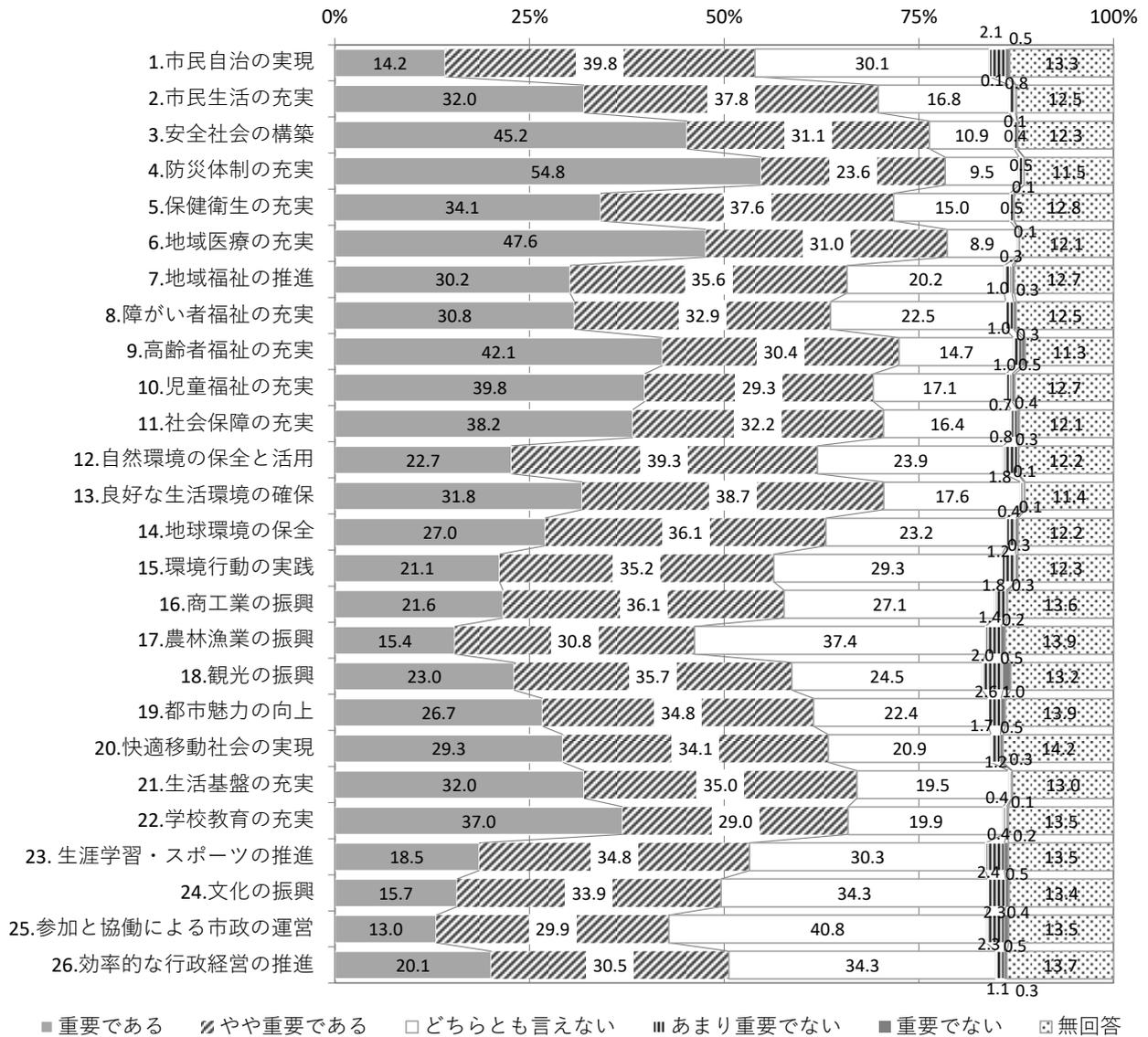
（単位：人、%）

問16（2）市の行政施策に係る「重要度」	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答
1.市民自治の実現	2,762	391	1,098	830	59	14	370
	100.0	14.2	39.8	30.1	2.1	0.5	13.3
2.市民生活の充実	2,762	884	1,044	464	22	4	344
	100.0	32.0	37.8	16.8	0.8	0.1	12.5
3.安全社会の構築	2,762	1,248	859	300	11	2	342
	100.0	45.2	31.1	10.9	0.4	0.1	12.3
4.防災体制の充実	2,762	1,514	653	262	15	3	315
	100.0	54.8	23.6	9.5	0.5	0.1	11.5
5.保健衛生の充実	2,762	943	1,039	413	13	1	353
	100.0	34.1	37.6	15.0	0.5	0.0	12.8
6.地域医療の充実	2,762	1,315	856	246	7	2	336
	100.0	47.6	31.0	8.9	0.3	0.1	12.1
7.地域福祉の推進	2,762	834	983	558	27	8	352
	100.0	30.2	35.6	20.2	1.0	0.3	12.7
8.障がい者福祉の充実	2,762	850	908	621	29	9	345
	100.0	30.8	32.9	22.5	1.0	0.3	12.5
9.高齢者福祉の充実	2,762	1,162	839	406	29	13	313
	100.0	42.1	30.4	14.7	1.0	0.5	11.3
10.児童福祉の充実	2,762	1,099	810	473	20	10	350
	100.0	39.8	29.3	17.1	0.7	0.4	12.7

(単位：人、%)

問16(2)市の行政施策に係る「重要度」	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答
11.社会保障の充実	2,762	1,056	888	452	22	7	337
	100.0	38.2	32.2	16.4	0.8	0.3	12.1
12.自然環境の保全と活用	2,762	626	1,086	660	50	4	336
	100.0	22.7	39.3	23.9	1.8	0.1	12.2
13.良好な生活環境の確保	2,762	877	1,068	485	11	4	317
	100.0	31.8	38.7	17.6	0.4	0.1	11.4
14.地球環境の保全	2,762	746	996	640	34	8	338
	100.0	27.0	36.1	23.2	1.2	0.3	12.2
15.環境行動の実践	2,762	584	973	809	49	7	340
	100.0	21.1	35.2	29.3	1.8	0.3	12.3
16.商工業の振興	2,762	596	996	748	39	5	378
	100.0	21.6	36.1	27.1	1.4	0.2	13.6
17.農林漁業の振興	2,762	426	850	1,032	55	15	384
	100.0	15.4	30.8	37.4	2.0	0.5	13.9
18.観光の振興	2,762	636	986	677	73	28	362
	100.0	23.0	35.7	24.5	2.6	1.0	13.2
19.都市魅力の向上	2,762	737	962	620	46	15	382
	100.0	26.7	34.8	22.4	1.7	0.5	13.9
20.快適移動社会の実現	2,762	809	941	578	33	9	392
	100.0	29.3	34.1	20.9	1.2	0.3	14.2
21.生活基盤の充実	2,762	883	967	538	11	2	361
	100.0	32.0	35.0	19.5	0.4	0.1	13.0
22.学校教育の充実	2,762	1,021	801	551	12	6	371
	100.0	37.0	29.0	19.9	0.4	0.2	13.5
23.生涯学習・スポーツの推進	2,762	512	960	838	66	15	371
	100.0	18.5	34.8	30.3	2.4	0.5	13.5
24.文化の振興	2,762	433	936	946	63	12	372
	100.0	15.7	33.9	34.3	2.3	0.4	13.4
25.参加と協働による市政の運営	2,762	360	825	1,126	64	15	372
	100.0	13.0	29.9	40.8	2.3	0.5	13.5
26.効率的な行政経営の推進	2,762	554	843	946	30	9	380
	100.0	20.1	30.5	34.3	1.1	0.3	13.7

図 1 2 (2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」

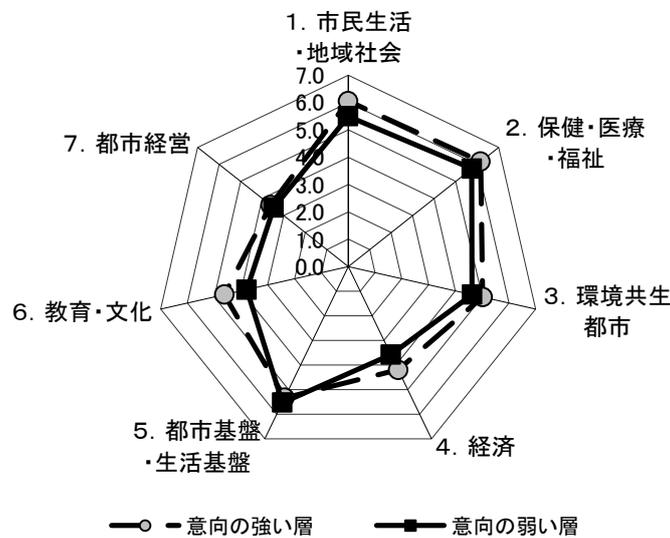


次に、問 16（2）市の行政施策に係る「今後の重要度」について7つのカテゴリに分け、7つのカテゴリ別に問8の居住継続意向をグループ化して比較する。

全体として、施策の中で特に何を重視するかについて、その重視する項目は、居住継続意向の強い層と弱い層であまり差はみられない。「5.都市基盤・生活基盤」の項目を除き、意向の強い層の方が得点が高いが、その得点差はすべての項目で満足度より小さいことが読み取れる。

差が見られるのは主に居住意向の弱い層が強い層より重要度が低いと考えている場合であり、「経済」、「教育・文化」となっている。

図 1 2（2）－1 居住継続意向別 重要度評価（カテゴリ別）



各カテゴリ内の項目についての傾向は以下の通りである。

市民生活・地域社会については、「1. 市民自治の実現」と「3. 安全社会の構築」、「4. 防災体制の充実」において、意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。また、「2. 市民生活の充実」は意向の強弱による差はほとんど見られなかった。

保健・医療・福祉については、「5. 保健衛生の充実」と「9. 高齢者福祉の充実」、「10. 児童福祉の充実」において、居住継続意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

環境共生都市については、「14. 地球環境の保全」と「15. 環境行動の実践」において、意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

経済については、「17. 農林漁業の振興」と「18. 観光の振興」において居住継続意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

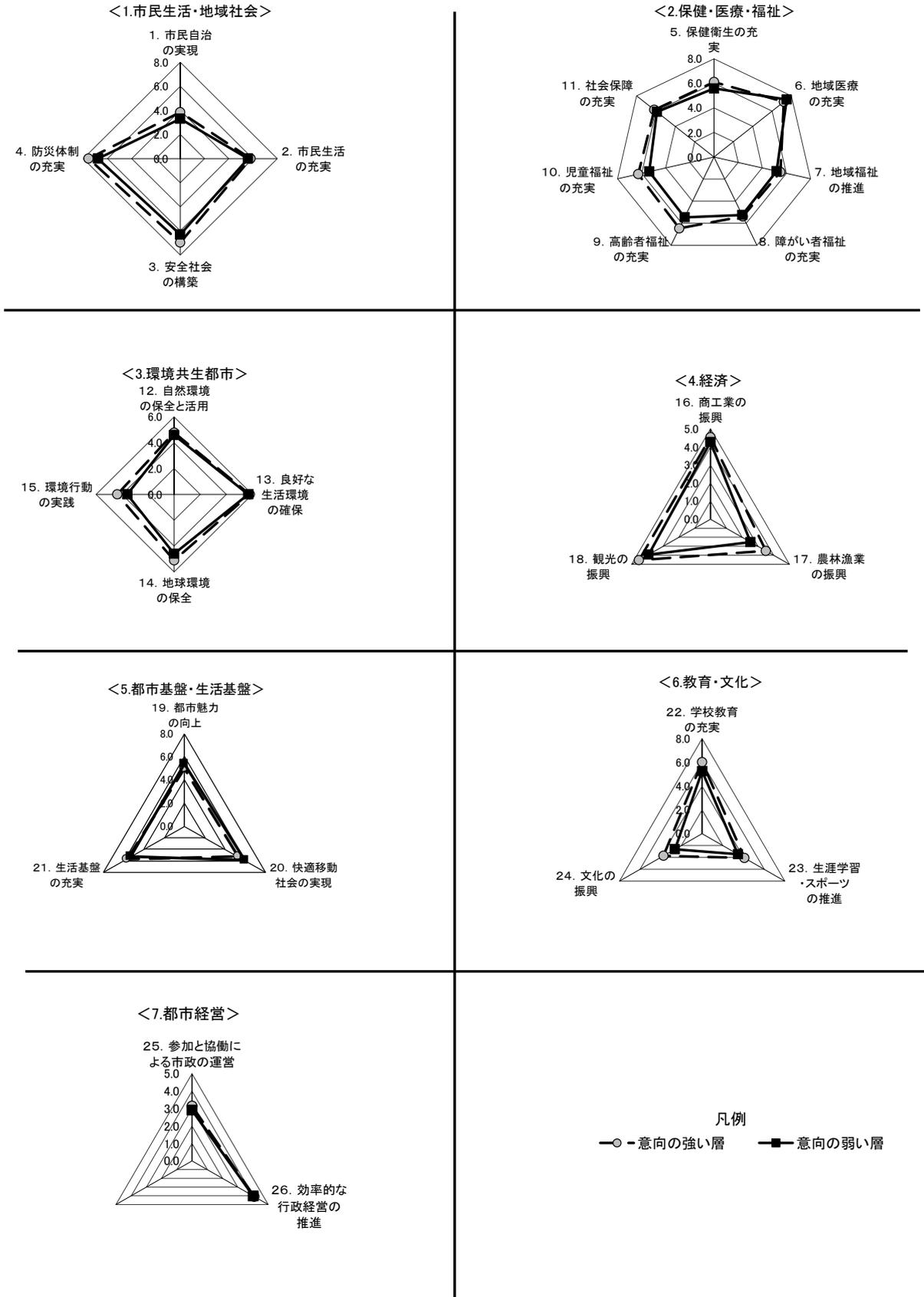
都市基盤・生活基盤については、居住継続意向の強い層も弱い層もほぼ同じ意見を有しているが、「20. 快適移動社会の実現」については、居住継続意向の弱い層がわずかに重要度を高く評価している。

教育・文化は、「22. 文化の振興」と「24. 文化の振興」において居住継続意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

最後に都市経営については、項目間での居住継続意向の強弱による差異は、ほとんどみられない。

以上より、すべてのカテゴリにおいて、居住継続意向の強い層の方が全般的に重要度を高く評価している。

図 1 2 (2) - 2 居住継続意向別 重要度評価 (項目別)



(参考) 居住継続意向別 重要度評価 (項目別)

カテゴリ1. 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	3.85	3.31	0.55
2. 市民生活の充実	5.81	5.60	0.21
3. 安全社会の構築	6.97	6.30	0.67
4. 防災体制の充実	7.56	6.79	0.77

カテゴリ2. 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保健衛生の充実	6.11	5.59	0.52
6. 地域医療の充実	7.22	7.52	-0.30
7. 地域福祉の推進	5.51	5.19	0.32
8. 障がい者福祉の充実	5.38	5.25	0.13
9. 高齢者福祉の充実	6.46	5.46	1.00
10. 児童福祉の充実	6.28	5.37	0.92
11. 社会保障の充実	6.17	5.90	0.27

カテゴリ3. 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	4.79	4.60	0.18
13. 良好な生活環境の確保	5.81	5.68	0.12
14. 地球環境の保全	5.11	4.60	0.51
15. 環境行動の実践	4.37	3.61	0.76

カテゴリ4. 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	4.54	4.27	0.27
17. 農林漁業の振興	3.51	2.53	0.97
18. 観光の振興	4.54	3.93	0.61

カテゴリ5. 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	4.98	5.37	-0.39
20. 快適移動社会の実現	5.28	5.91	-0.63
21. 生活基盤の充実	5.74	5.30	0.44

カテゴリ6. 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	6.03	5.26	0.77
23. 生涯学習・スポーツの推進	4.10	3.47	0.63
24. 文化の振興	3.73	2.63	1.10

カテゴリ7. 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	3.14	2.91	0.23
26. 効率的な行政経営の推進	4.07	4.02	0.05

居住継続意向と満足度および重要度との関係について

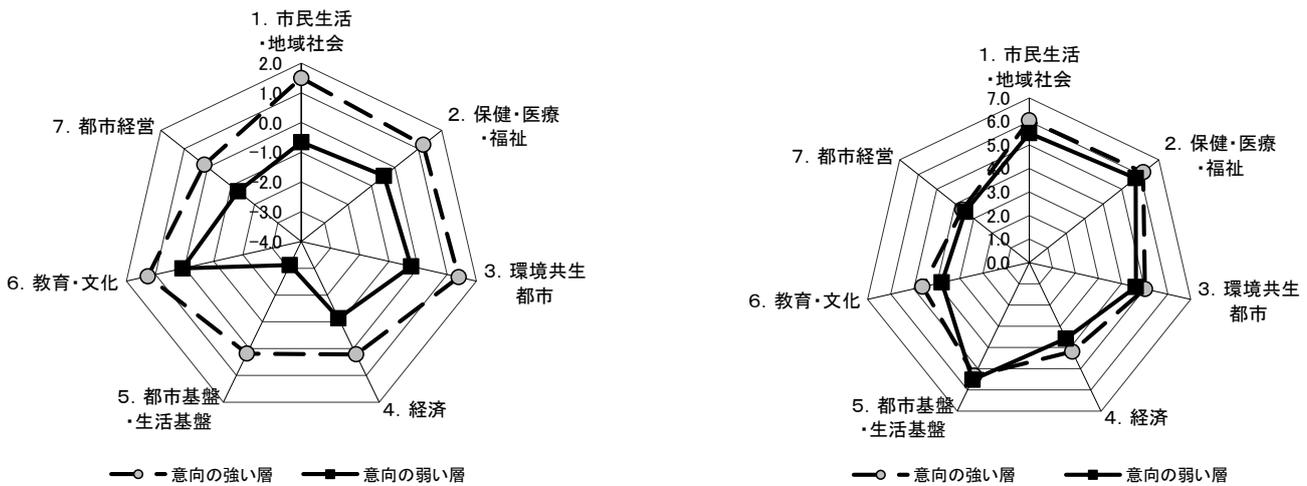
下図は前掲の図を再掲したものである。これらの図より、居住継続意向について、意向の強い層は市の行政施策に対する満足度が相対的に高く、意向の弱い層は満足度も相対的に低いことがわかる。重要度についても満足度と同様に、居住継続意向の強い層は市の行政施策に対する重要度が相対的に高く、意向の弱い層は重要度も相対的に低い。が、「都市基盤・生活基盤」については居住継続意向による違いはほとんど見られなかった。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、「教育・文化」と「環境共生社会」では重要度が相対的に低くなっており、この傾向は、居住継続意向の弱い層の「教育・文化」でより顕著である。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、「市民生活・地域社会」と「保健・医療・福祉」では、重要度も高くなっている。現状に満足していてもなお、今後の重要度が高い。

居住継続意向の弱い層では「都市基盤・生活基盤」の満足度が他のカテゴリと比して低くなっているが、重要度の評価は他のカテゴリと大差ない。

図 1 2 - 1 居住継続意向別 満足度 (左) と重要度 (右) (それぞれ再掲)



ニーズ得点について

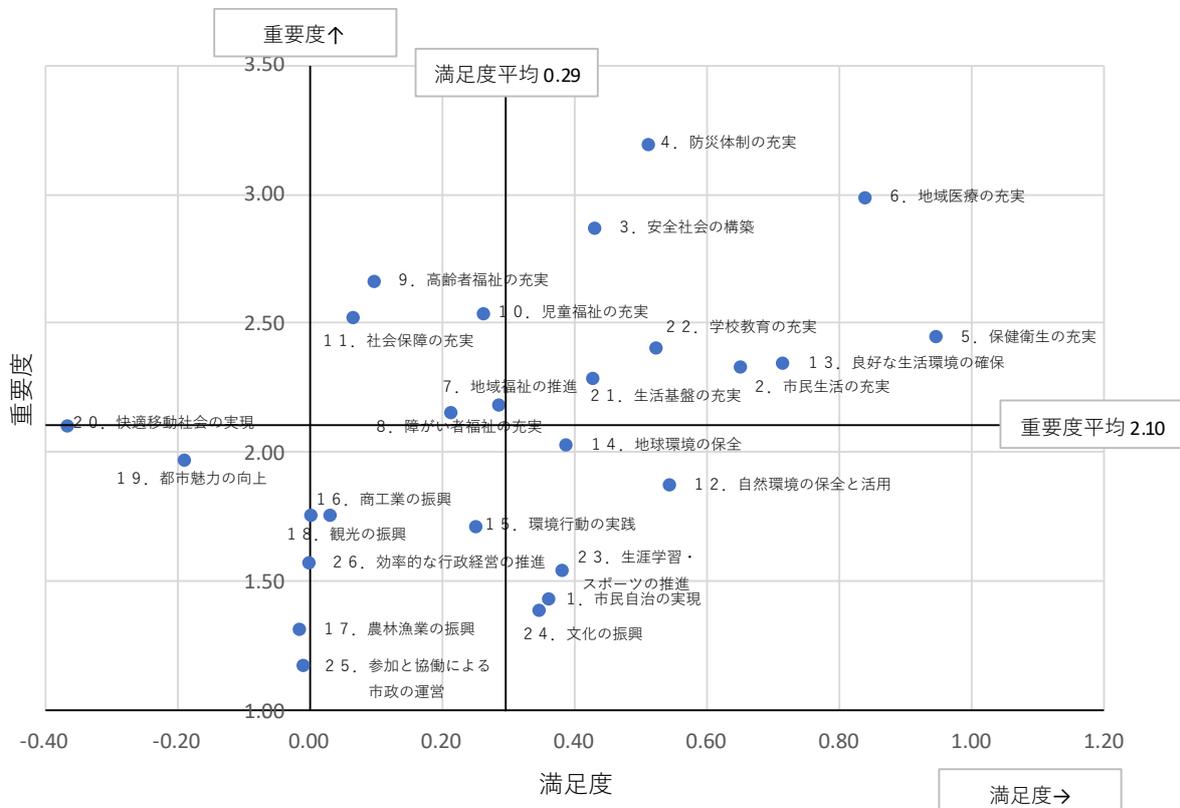
前記の結果から、次の方法で、満足度及び重要度の「平均ポイント」を算出した。下の図は各項目での満足度の平均ポイントと重要度の平均ポイントを散布図形式にて示したものである。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	+5点
やや満足	やや重要	+2点
どちらともいえない	どちらともいえない	0点
やや不満	あまり重要でない	-2点
不満	重要でない	-5点

【算出方法】 平均ポイント＝

$$\frac{\text{「満足/重要」} \times 5 + \text{「まあ満足/やや重要」} \times 2 + \text{「やや不満/あまり重要でない」} \times (-2) + \text{「不満/重要でない」} \times (-5)}{\text{回答者数 (人)}}$$

満足度及び重要度の平均ポイントを両軸にした、各施策項目の散布図を示す。この中で、重要度が高く満足度が低いものは優先すべき課題と考えられ、重要度は平均であっても満足度がもっとも低い「20.快適移動社会の実現」や、重要度が高く満足度が比較的低い「9. 高齢者福祉の充実」「11.社会保障の充実」などが該当する。

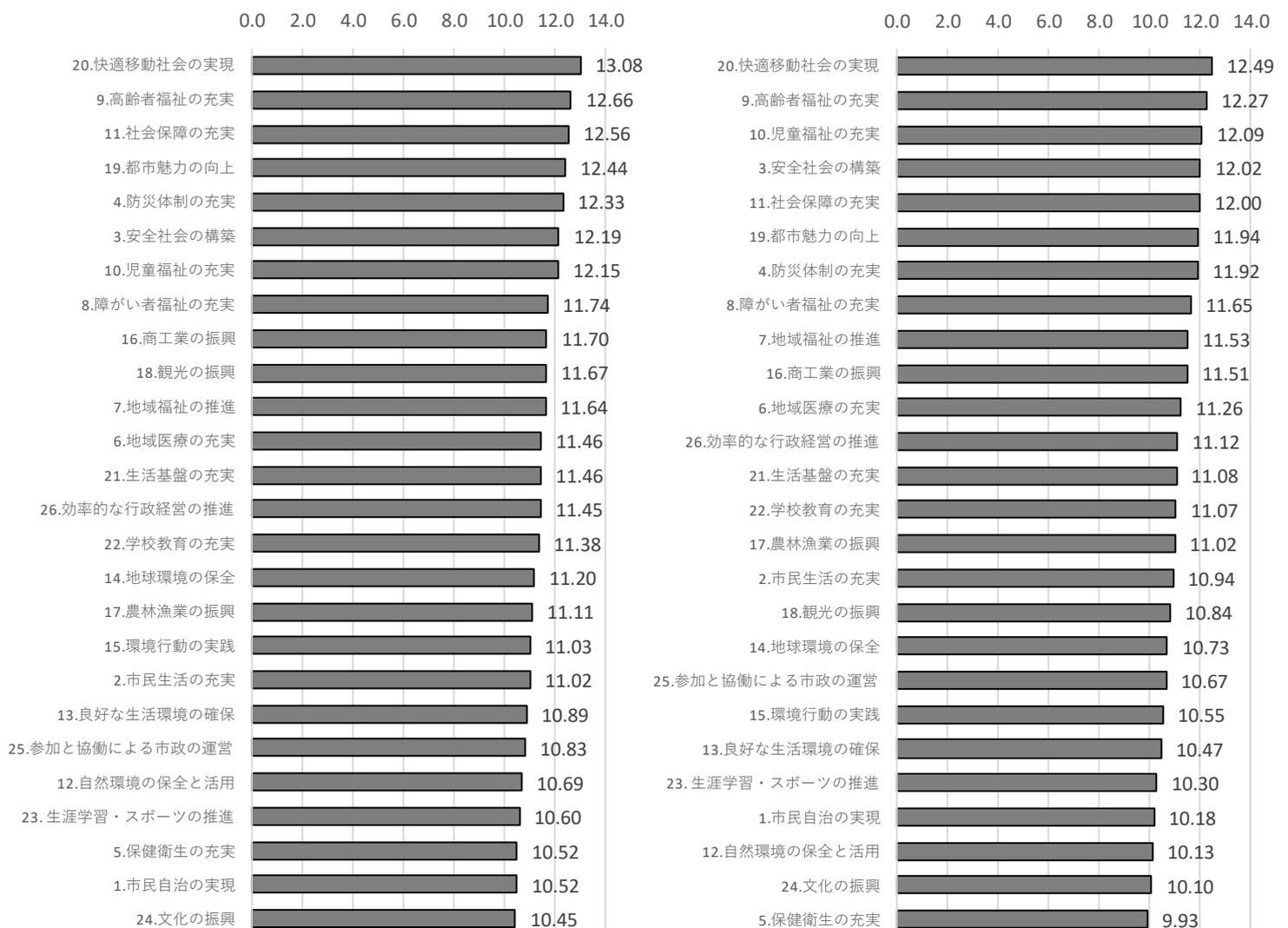


満足度と重要度から総合的に市民のニーズを測る「ニーズ得点」を算出した結果、ニーズ得点の高い項目としては、重要度は平均であっても満足度がもっとも低い「20. 快適移動社会の実現」(13.08)、重要度が高く満足度が比較的低い「9. 高齢者福祉の充実」(12.66)、「11. 社会保障の充実」(12.56)が上位3位に挙げられる。

これら上位の項目については、市民のニーズが高く、優先的に取り組むべき課題として認識する必要があるといえる。

また、平成28年度の調査では、「20. 快適移動の実現」(12.49)、「9. 高齢福祉の充実」(12.27)、「10. 児童福祉の充実」(12.09)が上位三位であった。順位が3以上上がった項目としては、「10. 観光の振興」(17位→10位)であった。

図 12-2 ニーズ得点 (左：平成30年度、右：平成28年度)



(参考) ニーズ得点

ニーズ得点は、下式により算出される回答者ごとの得点の全体平均であり、ニーズ得点が高い項目は、その行政施策・サービス等に対する住民のニーズが高いものにとらえることができる。式中の「満足度得点」、「重要度得点」は問 16 の回答内容によって決まり、下表のように設定した。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

注) 満足度及び重要度に、次のように5段階のポイントをつける。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	5
やや満足	やや重要	4
どちらともいえない	どちらともいえない	3
やや不満	あまり重要でない	2
不満	重要でない	1

ここで (6 - 満足度得点) は不満度を意味し、また、ニーズ得点の範囲は1～25点となる。ニーズ得点は、重要度が高くなるほど、また満足度が低くなるほど (不満度が高くなるほど) 高くなる。

内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」より

E 自由回答

岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、多様な分野について 1,196 件の意見が寄せられた。

寄せられた意見を下記の分野ごとに意見を整理した。なお、類似した意見については 1 つの意見に集約している。

- 1 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり（市民生活・地域社会の充実）
- 2 健やかに安心して暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉の充実）
- 3 自然と調和した環境にやさしいまちづくり（環境共生都市の実現）
- 4 賑わいと活力あるまちづくり（経済の振興）
- 5 快適で魅力あるまちづくり（都市基盤・生活基盤の整備）
- 6 未来を拓く人を育むまちづくり（教育・文化の振興）
- 7 将来まで自律した状態が続く都市経営（自律した都市経営の実践）

1 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり（市民生活・地域社会の充実）

地域の住民同士のつながりが希薄。施設などのハード面の整備も重要だが、それ以上にあらゆる世代の住民の意見を聞き、ソフト面でのつながりを作る・保てる施策を。長久手市の事例などを参考にして、岡崎に必要な施策を検討して下さい。
市街化調整区域の指定によって、地域の発展が困難になっている。過疎化対策が必要な状況にあつて支障となっている。
町内会に縛られて生活しにくい。もっと他県など、現在に合った町内会を作っている所もあるので見習ってほしい。自由参加など、選択肢を増やしてもらえるとありがたい。皆さん、悩んでいます。
現在ボランティア(緑化)に参加しているのですが、60～70代の元気な方の姿を見ると、働くお母さんや体の不自由な方への悩み相談(話し相手)として横のつながりが近所でできたら…。子供の安全や孤独死など上手く回避できるのでは。その為に、上手く市民センターなどのコミュニティセンターをさらに活用する方法が見つければと思います。
地域の子ども会や体育振興会の在り方を話し合っていたきたい。少子化や子供の育て方の多様化で子ども会への参加が減り、体育振興会も参加できる年齢の親たちも少ない。推進ばかりでは、一人ひとりの負担が増え、親たちの地域離れが進んでしまう。将来的には、自治への参加も敬遠されてしまう。
少子高齢化に向けて、これからの問題点を明確にし、住み良い町づくりを、住民参加の話し合いの中で方向づけしてほしいと思います。他県に転勤で住んだ経験から、もっと人と人がつながる取り組みが各自治体の中にあつてもいいのではないのでしょうか。これでは、災害が起こった時助け合えるお互いになっていけるのか少々不安です。
防犯に対する行政の充実。(街の防犯、カメラ等の設置拡大)明るい街づくり(康生通りの再建)。街灯が少なすぎる。宇頭駅の自転車置場の整備(置場が少なすぎる為、かなり多くの自転車をはみ出している)。駅の利用者が増加している。
最近、岡崎市内は治安が悪く、不安になることが多いのでなんとかしてほしい。自転車で通勤しているが、学生のマナーが悪く思うので取り締まりをもっとしてほしい。
地域の入り組んだ狭い道に街灯が少ないと思う。防犯意識が少ないと思います。
防犯に関していき届いてないと感じます。小さな子供を一人で歩いたり遊びにでかけられず各公園などに防犯カメラの設置を必ず実行して下さい。
岡崎市内の河川の氾濫対策に力を入れてほしいです。
今、問題になっている、ブロック塀の改善や指導を早急に行なって欲しい。
防災訓練を頻繁にやってほしいです。何かあったときの避難経路などこまめに確認できることで助かる命は沢山あります。
地域の入り組んだ狭い道に街灯が少ないと思う。防犯意識が少ないと思います。
私の住む岡崎地域には、大小いくつもの溜め池が点在しています。集中豪雨などで土手が決壊した場合、重大な被害を受ける結果になると思います。中小の河川だけではなく、溜め池などの防災マップも作成して頂きたいと思います。

2 健やかに安心して暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉の充実）

救急医療の充実をさらにお願ひします。
30代以上も、市の（がん）健診として胃、乳がん検診をできるようにしてほしい。
病院の待ち時間が長い・紹介状がないと自己負担大きすぎる。
今、市民病院と愛知病院が一緒になろうとしています、市民病院が駐車場や入院場所がパンク状態みたいです。愛知病院の活用をもっと考えて欲しいです。
大病院が少ない。検査には市民病院まで行かなければならない。
市の南部地区に病院ができて、大変ありがたいと思います。
老人介護について、とても充実してきていますが、障害者の高齢化で老人施設と同じ扱いを受けているようですが、障害者とは、別の部門にしてほしいと思っています。保育園（幼稚園）、学校、老人施設、障害者施設と自由に交流できる場所ができる事が希望です。
高齢者の体力低下を防ぐ取組みをもっとしてほしい。介護（特老）施設について、個室ばかりが増える。多人数部屋のある施設は中心部から遠い所ばかり。新設もない。
65才以上の人々のために、いろいろな施設を活用できるようにしてほしい。65才以上の学習の場（歴史など）が他市より少ない。充実してほしい。
保育士が不足している中、保育士が働く環境を良くしないと保育園等増やしても、待機児童の解決にはならないのではないか。
保育士不足を解消するため、労働環境を良くして、働きたいと思えるようにしないと、これからますます市民のニーズに応えられなくなってしまう。実際に確保できる保育士数に合わせた入所人数にして、年休など必要な時にとれるようにしてほしい。正規保育士が半数以上にならないと、安全な保育を続けるためのゆとりがなくなってしまうと感じます。
他の自治体と比べると、障害者福祉が遅れているように感じます。家族、施設の要望がもっと通やすくしてほしいです。
小学生になると室内で遊べる「児童館」のようなものが、岡崎市にはないのが不満。現状の「プレイルーム」では下の子がいても上の子が入れない（入室禁止になっている）。
保育園へ入園をもっとしやすくして欲しい。主人が突然の病にかかっても途中入園も出来ず、おかしいと思いました。共働き（正社員同士）を優遇ばかりするのは、格差の開きを大きくするだけだ。本当に入園を希望する家庭は他にもあると思います。ここはしっかり改善を求めています。
2人目以降の子供への手当等を充実し少子化対策をして欲しい。経済的な面で2人目をどうするか悩んでいるため。
子供が遊べる施設を増やしてほしい。水遊びができるところがあるとよい。プール（流水プール）が、もう少し充実してほしい。岡崎市の北側を活性化させてほしい。色んなものが南に集中しすぎ。
子供が使える屋内施設が少ない（遊び場やプール）。

3 自然と調和した環境にやさしいまちづくり（環境共生都市の実現）

環境にやさしく、生活にゆとりが出来るように努力すること。
JR 岡崎駅 の通りに緑がない。管理面もあるうが、緑がもっとあってほしい。
以前よりも田畑が無くなり、ホテルもどこかへ行ってしまう。車の量が増えるにつれて、アレルギー性の鼻炎やせきが出るようになったので、なるべく新たな開発などをしない方が、私は将来の子供たちも幸せであると思います。宜しく願います。
岡崎市南部に住んでいますが、年々農地が減って、災害時自然ダムが減少し、景観も損なわれています。若松（岡崎地区）周辺は、何代も住み続けやすい街づくりといえるのでしょうか。今、日本のあちらこちらで起きている災害は、人災だと思っています。あまりにも自然を壊しすぎた結果だと思っています。矢作川堆積土は、除去できないのでしょうか。
ゴミの分別を個人個人、しっかり意識できるよう取り組んでほしいです。
水害、土砂災害の危険防止マップを作り、その対策スケジュールを明示して欲しい。環境問題・大気、水、土壌、騒音、振動、臭気等及びCO2、ヒートアイランド等全般への啓蒙、どの様な状況か示して欲しい。
矢作川沿岸の公園や土手が草だらけで遊べない。遊歩道を歩いても草でかくれてしまい危険です（水郷公園、堤下公園近くの沿岸）。中途半端な事は無駄。
河川の草が生い茂っています。整備してほしいです。
鳥獣被害多いので間引き出来ないか（とくにサルによる野菜）。
花火と花見の時、家のまわりがゴミだらけ。カラス（移動してくる）のフンだらけで洗濯が干せなくなるので困る。
野鳥の森、恩賜苑の手入れがしてない。やすらぎ墓苑はきれいにしており感謝しています。
車で走っていて街路樹の歯抜けが気になります。枯れた木の補充をして下さい。1度植えたらよしでなく、植えたら5年位は気にかけて補充をして街路樹は続くよどこまでも…よろしく。

4 賑わいと活力あるまちづくり（経済の振興）

大型のショッピングモールより、商店街のような所が欲しい。
JR 岡崎駅 に直結のスーパーが出来ると大変助かります。 JR 刈谷駅 のような複合施設が出来るとなおうれしいです。共働き世帯には喜ばれると思います。
本宿地区に開発予定のアウトレットについて、若い女性の意見をどんどん取り入れてほしい。赤池にあるプライムツリーは、すごく子育てママにとって、お手本とすべき所があるので、いい所を真似してほしい。
大企業の誘致など積極的にしてほしい。土地の有効活用など。
若い人が就職口がなくて、名古屋に出て行く現実を考えるべき。
林業があまり重視されていないので、遊んでいる人や若者達の力を林業や農業に、しかも市が中心になって採用する等の方法を考えたら若い人の力が生かされるのではないだろうか。フリーター等の働く意力ある人の掘り起こしが必要だと思う。予算をつけて彼等の給与体系を考えたら良いと思う。
岡崎には全国でも有数の花火大会や、おかげえもん効果での岡崎城、岩津天満宮など観光名所があるのに、周辺施設が充実しておらず魅力が少ないと思う。リニアができると愛知県に来る人が増加すると思うので、観光に力を入れて経済や交通の便を豊かにして欲しいと思う。
岡崎市には多くの歴史的な施設や文化があるが、あまり観光資源として生かされていないと思われる。現在、魅力向上策として、様々な取り組みがされているが、観光都市と位置付けられるような町にしていきたい。

市外の人たちも利用したくなる様な文化施設、文化イベントなどを根づかせられたらいいなと思います。
観光にもっと力を入れて欲しい。まずホテル等、たくさんの人が宿泊できる施設がない。マンションばかり建っていて、観光客を収容できる施設がない為、みな西浦温泉、吉良温泉等に流れてしまっている。
岡崎市の魅力は全国レベルには広がっていないと思う。岡崎城下には家康公あり、四季を通しての「これを見て」発信が少なく感じる。私の大好きな岡崎を全国に伝える。発信する市民全員で考えて行きたいものです。
無料低料金でのレジャー観光施設がない。周辺市町村は充実している。大府の健康の森、安城デンパークなど。

5 快適で魅力あるまちづくり（都市基盤・生活基盤の整備）

住宅が建設されすぎている。人口が増えていても、それを上回るので、将来必ず空き家の問題が出る。問題が表面化してからでは遅いので、早く動き出す必要がある。
中山間地域への定住促進住宅の設置について。農業の後継者の問題も踏まえ JA と行政のコラボについて。
矢作地区の発展、施設の不足が目立つ。地域に人の集える公園等、もっと充実して人として生きる空間、余裕、ゆったり間の持てる環境作りを希望する。
東岡崎周辺の整備をお願いしたいです。駅前、特に北口が何十年前の時からあまり変わらず狭苦しく、商業施設も貧弱です。玄関口となる大切な場所、いつ整備されるのかと長年思っています。
かつての岡崎の中心であった東岡崎から、康生町の活気を再び取り戻して欲しいなと思います。若い人達のワークショップみたいなものを、空き家、空きスペースを利用してシェアしあって、個性的なお店をもっと増やしていったら良いのではないかと思います。私が 20 代の頃の康生は輝いていました。
現在、駅周辺や、その他の平地に大幅な住宅地の増設が進行していると聞きました。もちろん人口増加に繋がり良い事だと思います。しかし、その一方で、朝や夕方には国道 1 号線を中心に車の渋滞がとて目立つ市という印象も受けています。人口増加に伴う交通量増加で、自転車や歩行者との事故が増加してしまうのではないかともし思いました。
日名橋の車線増加。国道 1 号と国道 248 号交差点の渋滞減少。
北部に住んでいるが、公共交通機関がほとんどなく大変不便である。車を運転できる間は良いが、高齢になると運転も心配であり、公共交通機関の充実を期待する。現状、車でないと岡崎中心部、安城、豊田、幸田等へ出るのが大変。
車中心の街づくりに寄っていると思います。これからの高齢社会に向け、老人や子ども等、歩きで移動する人が暮らしやすい街づくりが必要かと思ひます（歩きやすい歩道、夜でも明るい街、街灯の設置）。
岡崎の南部の発展ばかりが、目につきます。北部は商業施設もなければ鉄道もありません。バスも多い訳でもないので、とても不便だと思います。以前のように岡崎～豊田間を行き来できる交通機関がほしい。
路線バスをもっと充実してほしい。市内の各駅や各高校などへバスで行けるようになると良い（高校への長距離の自転車通学は、危険が多いと思います）。
自家用車を手離しても、市内の主要な場所に不自由なく移動出来るような対策をお願いしたい。コミュニティバス等、小型・中型バスを市内に走らせて欲しいです。

6 未来を拓く人を育むまちづくり（教育・文化の振興）

部活動を廃止にするか、部活動の指導を外部に委託した方が良いです。先生の負担が多いし、子供達もクラブチームなどで運動する事が多いため。
冷房設置校が全国で増加しています。猛暑や熱中症対策には必要だと思います。岡崎市の小中学校教室・室内の温度を調べて頂き、特に暑さを感じる教室、数多く利用する教室にはエアコンの設置をお願いしたいですね。
子供の通学カバンが重すぎる。姿勢、成長の妨げになっている気がします。各行事、部活は自由参加にして欲しい。子供の意志を大事にしてあげたいです。
JR と名鉄のターミナル駅。商業をもっと発展させてほしい。他市から岡崎へ行きたいと思ってもらえる街にしてほしい。
北部地区にもトレーニングセンター等を作ってほしい。
八丁味噌に関する、県及び国の認定に対して、市民の合意として法的に闘争を希望する。
中総の土地活用としてリサイクルセンターの廃熱を利用したウォータープール（冬はスケートリンク）施設、温水宿泊施設等、ファミリーがさらに利用できるような活用させてほしい。
市内の交通渋滞が改善されるよう、都市計画を見直していただきたい。
生涯教育の場をもう少し増やしていただきたい（大学におけるセミナー、授業など）。
図書館の相互貸し出しの範囲を広げてほしい（大学図書館 etc）。
公共施設、図書館交流プラザらぶらの駐車場を無料にしてほしい。遠方からは車でしか行けないので駐車料金が負担となります。宜しくお願いいたします。
安価な音楽コンサート等の開催を増やしてほしい。隣の幸田、安城と比較して少なく感じる。
美術博物館が利用しにくいと思う。料金が高いと思う。年金者にも利用しやすいようにしてほしい。

7 将来まで自律した状態が続く都市経営（自律した都市経営の実践）

今後の都市計画などが自然と入ってくる環境が、欲しいと思います（わざわざ調べなくとも知れる。ホームページなどを見なくても）。
まずは関心を持ちたいと思わせる。関心が無いから、どうすれば良いかと意見が出ない。
市民の意見を反映できなかった事は①なぜできなかったのか ②どう対策をして、いつ反映するのかを明確にしてほしい。やった事だけでなく、やれなかった事も発表してほしい。その方が信用できる気がします。
施策をもっと公表すべきだ。市民の意見を多に取り入れて欲しい。またそういう制度 or 結果等も公表する体制を望む。
市政について知ってもらうのであれば、Twitter や Instagram を活用してほしい。アカウントはあるのかもしれないが、目に触れていない。ユーモアのある方が発信されるといいと思う。
市民の意見を吸い上げ、市政に反映させる仕組みを多く作り、小さな事でも市民参加の市政だと感じられるようになると良いと思います。
一部の人しか利用しない施設に多額の税金を使いすぎ。他の市より税金が高いのが不満
市外からの移住希望者が多数現れる町づくりをお願いします。魅力があれば移住者は増加するはず。ふるさと納税でも頑張ってください。市外へ税金が流出してしまいます。
多くの施策があげられているが、重点的な項目に絞って実施することが望ましい。自分にとって身近に思える施策が少ないと思われる。小さい市政でよいと思われる。

駅から続く歩道用の新しい橋は本当に必要なのか。なんであんな橋を作るのか。税金のムダ使い。

市の財政安定期こそ、将来に備えるべきと考える。食ってしまうお金でなく、再生産的な財産運営を考え、方針を示してほしい＝市の将来像（例・観光の見通し）。

ますます高齢化が進み、事故防止等を鑑み、運転免許の返納者も増えると思われるが、足となるコミュニティーバスの運行を康生の方ばかりでなく、もっと広範囲をカバーする路線等を考えてほしい。

イオン一極集中の解消←市では難しいかもしれませんが。

平成 30 年度市民意識調査

- あなたの声をお寄せください -

日頃は、市政にご理解とご協力をくださりありがとうございます。

このたび郵送しました市民意識調査は、岡崎市の市政について市民の皆さんからご意見やご提言をいただき、本市のまちづくりに反映していくことを目的として実施するもので、市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に選定しました 5,000 人の方にご協力をお願いしています。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 7 月

岡崎市長 内 田 康 宏

ご記入にあたって

- ◎ できるだけあて名のご本人が、ご回答くださいますようお願いいたします。
ご本人がご回答できない場合は、ご家族がお答えくださいますも結構です。
- ◎ ご回答は、別紙調査票に直接ご記入ください。
- ◎ ご記入が済みましたら、7月20日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに、ご投函ください。
- ◎ アンケートの結果は、統計的に処理しますので、ご回答くださいました方にご迷惑をおかけすることはありません。

問い合わせ先

岡崎市 企画課企画係 電話 (0564) 23-6812

こちらに直接ご記入いただき、同封の返信用封筒でご返送ください

A あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 5. 50歳代 |
| 2. 20歳代 | 6. 60歳代 |
| 3. 30歳代 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40歳代 | |

問3 あなたの職業をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 勤め人(常勤) | 5. 専業主婦(夫) |
| 2. 学生 | 6. 無職 |
| 3. 自営業・家業(農林業、商業、工業、サービス業など) | |
| 4. パート・アルバイト | 7. その他() |

問4 あなたが、市内にお住まいになっている年数(市外へ転出され戻られた方は通算の年数)をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 2. 5年以上10年未満 | 5. 30年以上 |
| 3. 10年以上20年未満 | |

問5 一緒に住んでいるあなたの家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか(当てはまるもの全ての番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 3歳以下の同居家族がいる | 4. 65歳以上の同居家族がいる |
| 2. 4～18歳の同居家族がいる | 5. 夫婦のみである |
| 3. 19～64歳の同居家族がいる | 6. 同居家族はいない(単身である) |

問6 あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域(支所区域)をお答えください(番号を○で囲んでください)。別添の参考資料の表紙に掲載している地図を参考にしてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 中央地域 | 5. 岩津地域 |
| 2. 岡崎地域 | 6. 矢作地域 |
| 3. 大平地域 | 7. 六ツ美地域 |
| 4. 東部地域 | 8. 額田地域 |

↓

※お住まいの地域名が分からない場合は、町名をご記入ください。() 町)

B 岡崎のまちについておたずねします

問7 あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思えますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 住みよい 2. まあ住みよい	3. やや住みにくい 4. 住みにくい
↓	↓
問7-1にお進みください	問7-2にお進みください

問7-1 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便がよい
2. 買い物が便利である
3. 公害が少ない
4. 下水道などの基盤整備がよい
5. 災害の危険性が少ない
6. 犯罪が少なく風紀がよい
7. 緑や自然環境が豊かである
8. 近所づきあいなどの人間関係がよい
9. 教育など子どもを育てる環境がよい
10. 医療や福祉環境が充実している
11. 文化やスポーツの機会に恵まれている
12. まちに魅力や活気がある
13. その他()

問7-2 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便が悪い
2. 買い物が不便である
3. 公害により環境が悪い
4. 下水道などの基盤整備が遅れている
5. 災害に対する不安が大きい
6. 犯罪に対する不安が大きい
7. 緑や自然環境が少ない
8. 近所づきあいなどの人間関係がよくない
9. 教育など子どもを育てる環境がよくない
10. 医療や福祉環境が不足している
11. 文化やスポーツにふれる機会が少ない
12. まちに魅力や活気がない
13. その他()

問8 あなたは今後も岡崎市に住み続けたいと思えますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. ずっと住んでいたい	4. 市外に移りたい
2. しばらくは住むつもりだ	5. わからない
3. 市内の他の地域に移りたい	

全国的に、将来的な人口減少・少子高齢化が課題となっており、より効率的で効果的なまちづくりに向けて、鉄道駅などを中心としたコンパクトなまちづくりが求められています。岡崎市の駅周辺のまちづくりについて、以下の問いにお答えください。

問9 あなたが普段、最も多く利用する鉄道駅はどこですか。次の中から1つを選び、その番号を○で囲んでください。

(名鉄)	1. 東岡崎駅	2. 美合駅	3. 本宿駅	4. 矢作橋駅
	5. その他の名鉄の駅 () 駅			
(JR)	6. 岡崎駅	7. 西岡崎駅		
(愛環)	8. 愛知環状鉄道の駅 () 駅			

問10 問9で選んだ鉄道駅の周辺に、重要だと思う施設は何ですか。

次の1～5と、6～10の中からそれぞれ主なものを1つを選び、その番号を○で囲んでください。

1. スーパーや飲食店などの商業施設	}	←	1～5までの中から1つ お選びください。
2. 病院や診療所などの医療施設			
3. 行政サービス、銀行・郵便局などの業務施設			
4. 保育所等の子育て支援施設			
5. イベントや会議のための集会施設			
6. 公園や緑地	}	←	6～10までの中から1つ お選びください。
7. 自由に座れる場所			
8. 多くの人が集まれる広場			
9. 車での送迎が可能な駅前広場			
10. 駐輪場			
11. その他() ※上記のほか、もしあればご記入ください。			

問11 あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1. 非常に関心がある</p> <p>2. ある程度関心がある</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>3. あまり関心がない</p> <p>4. まったく関心がない</p> </div>
↓	↓
問11-1にお進みください	問11-2にお進みください

問11-1 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 自分の暮らし向きに直接関係がある
2. 市政が身近なものになってきた
3. 市政に興味がある
4. 自分の住む岡崎市をもっとよくしたい
5. その他()

問11-2 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 自分の暮らし向きに直接関係がない
2. 市政が身近なものでない
3. 市政に興味がない
4. その他()

↓

問11-3にお進みください

問11-3 市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する
2. 市政に対する市民参加の機会や、勉強会、講習会等を増やす
3. 岡崎市をもっと魅力的なまちにする
4. 市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める
5. わからない
6. その他()

問12 あなたは、今後、岡崎市のまちづくりに対して、どのような関わりを持ちたいとお考えですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 主に町内会活動に関わっていききたい
2. 主に地域ボランティアやNPOの活動に関わっていききたい
3. 町内会や地域ボランティアなど特定の団体による活動ではないが、何か地域に貢献したい
4. 関わりを持つことを考えていない
5. わからない
6. その他()

C 働くことに対するあなたのお考えについておたずねします

※ 以下の問13と問14は、問3で選択した「あなたの職業」が「1 勤め人(常勤)」、「3 自営業・家業(農林業、商業、工業、サービス業)」、「4 パート・アルバイト」とした方のみ回答してください。

問13 長寿命化が進み人生100年時代を迎えるといわれる中、どのぐらいまで働きたいと考えていますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 一般的な定年とされる60歳まで働きたい
2. 定年後も年金を満額受給できる65歳まで働きたい
3. 定年など関係なく働けるうちはできるだけ働きたい
4. 結婚、出産などを契機に退職したい
5. 早期退職などで定年前に退職したい
6. その他()
7. わからない

問14 今後、働き続けていく上で、不安に思うことがありますか。次の中から当てはまるものを全て選び、その番号を○で囲んでください。

1. 子育てと両立すること
2. 介護と両立すること
3. 自身の健康に関すること
4. ロボット、AI等の革新技術により雇用が減少すること
5. 雇用が継続すること
6. 賃金に関すること
7. 残業や休暇制度など労働環境に関すること
8. その他()
9. 特にない

※ 以下の問15から問15-2は、問3で選択した「あなたの職業」が「5 専業主婦(夫)」、
「6 無職」とした方のみ回答してください。

問15 あなたは今後、働きたいと考えていますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 働きたい	3. 働きたくない
2. 条件が整えば働きたい	

↓ 問15-1にお進みください

問15-1 あなたが働きたいと考えるのは、どのような理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 仕事にやりがいを感じたいから
2. 生活費を稼ぎたいから
3. 金銭的なゆとりが欲しいから
4. 知識やスキルを得たいから
5. 社会との接点を持ちたいから
6. 仕事を通じて社会貢献したいから
7. 生活の楽しみが欲しいから
8. その他()
9. 特にない・分からない

問15-2 今後、あなたが働くために、どのような環境が整うとよいと考えますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 職業の選択肢が多く、やりたい仕事ができること
2. 中途採用の機会が多いこと
3. 就職に必要な知識・スキルを学ぶ機会があること
4. 短時間勤務やフレックスタイムなどの柔軟な働き方ができること
5. テレワークや在宅勤務などの多様な働き方ができること
6. 家族等の理解・協力が得られること
7. 保育サービスが充実していること
8. 介護サービスが充実していること
9. その他()
10. 特にない・分からない

D 市の取組に対する満足度・重要度についておたずねします

問16 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

なお、各施策についてこれまで行ってきた取組みを別添の参考資料に紹介していますので、そちらを参考にご回答ください。

設問項目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
	(例)〇〇の充実	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
地域生活・社会	1. 市民自治の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 市民生活の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 安全社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 防災体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	5. 保健衛生の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 障がい者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 児童福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 社会保障の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境共生都市	12. 自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 良好な生活環境の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 環境行動の実践	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設問項目	満足度・重要度 それぞれ1つを選択					現状の満足度					今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない					

経済	16. 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 農林漁業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤・生活基盤	19. 都市魅力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 快適移動社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 生活基盤の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	22. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 生涯学習・スポーツの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市経営	25. 参加と協働による市政の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 効率的な行政経営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 市の取組全般の総合評価 (上記1から26全体の評価)	1	2	3	4	5					

E あなたの自由なご意見をお聞かせください

問17 岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

設問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

岡崎市市民意識調査 報告書

平成31年3月発行

岡崎市総合政策部企画課

岡崎市十王町2丁目9番地

TEL 0564-23-6812